

平成29年度 業務実績報告書

平成30年6月

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

I 法人の概要

1 法人の現況

(1) 法人名称
地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院

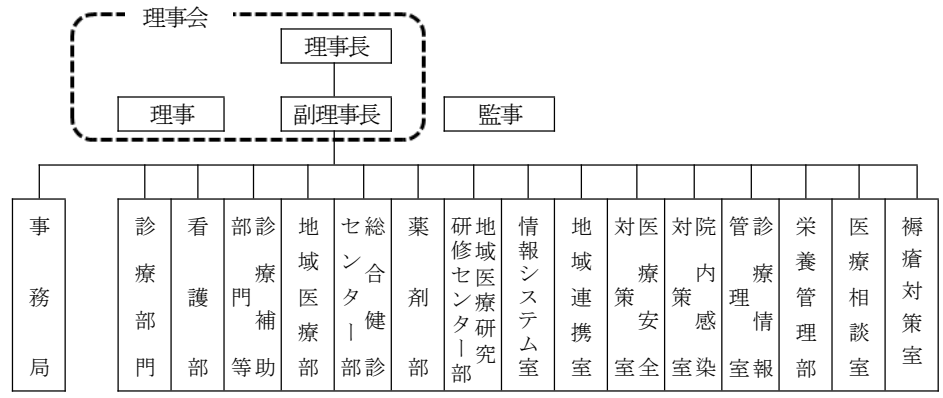
(2) 所在地
岐阜県下呂市森2211

(3) 設立年月日
平成22年4月1日

(4) 役員の状況 (平成29年4月1日現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	山森 積雄
副理事長	常勤	鈴木 康
理事	非常勤	大塚 正義
理事	常勤	河合 久美子
理事	常勤	丹羽 誠
監事	非常勤	堀 雅博
監事	非常勤	井上 学

(5) 組織図



(6) 職員数 (平成29年4月1日現在)

職種	常勤	非常勤	計
医師	20名	※ 3名	23名
看護師	194名	19名	213名
コメディカル	61名	6名	67名
事務ほか	33名	59名	92名
計	308名	87名	395名

※ 医師はフルタイム非常勤

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化を図り、免震機能及び屋上ヘリポートを備えた新病院建設や高度医療機器の導入など目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努めたものの、経常収支比率100%の目標は未達成となった。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、飛騨地域の中核病院として、都市部の病院と同様に、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、地域の医療施設との間で病診連携を推進することで、飛騨地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

平成26年5月に新築移転した新病院の機能を活用し、飛騨南部地域における中核病院として、下記の役割を担う。

- ・地域医療の教育・研究（地域医療研究研修センターの機能）
- ・へき地医療の提供と支援
- ・高度急性期医療の提供
- ・地域災害医療の提供
- ・終末期医療（入院・在宅）の提供
- ・医療従事者の確保
- ・地域医療機関等との連携

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地（平成26年5月1日から）

岐阜県下呂市森2211

(3) 沿革

昭和28年7月1日 岐阜県立下呂病院 開設

昭和35年5月4日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」

平成26年5月1日 下呂市森へ新築移転

(4) その他(平成29年4月1日現在)

主な役割 及び機能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
許可病床数	一般病床 206床
看護体制	7対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）
年間延患者数 (H29実績)	入院 61,098名 外来 85,636名

建物面積	19,594㎡
理念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。
基本方針	1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

多様な手段の積極的活用による医師確保の取り組みや、資格取得の促進・専門研修参加への支援、医療安全・院内感染防止対策の確立などにより、飛騨地域の基幹病院として必要な

- ・ 医療従事者の資質向上
- ・ 患者サービス、院内環境の快適性向上
- ・ 診療体制の充実
- ・ へき地医療の拠点機能の充実

を図り、急性期医療・政策医療など地域県民が必要とする医療の提供に努めた。

1-2 調査研究事業

調査研究の推進、診療等で得られた情報の活用や保健医療情報の発信のため

- ・ マタニティエクササイズなどの公開教室の開催
- ・ 病院広報誌による保健医療情報の提供
- ・ 院内活動に関して病院ホームページでの情報提供
- ・ NCD、院内がん登録など医療情報データベースへのデータ提供

を行い、県民の健康意識向上に努めるとともに、医療情報データベースの構築に寄与した。

1-3 教育研修事業

平成29年度に実施された厚生労働省訪問調査の結果、引き続き基幹型臨床研修病院の指定継続が認められた。平成29年度に新たに1名臨床研修医を受け入れて基幹型の臨床研修病院として初期臨床研修を実施した。また、平成30年度採用臨床研修生2名について内定を行った。さらに、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の臨床研修医に係る研修協力施設として、「地域医療研修（1ヶ月）」の受入れを行い、医師の養成に努めた。

さらに、下呂看護専門学校看護学生や下呂市消防本部の救急救命士などの地域医療従事者の実習受入れを行い、教育・研修の充実を図った。

1-4 地域支援事業

地域医療機関や在宅医療への支援として、

- ・ 東白川村国保診療所等への医師の派遣による人的支援
- ・ 地域開業医等の当院医療機器の共同利用の推進
- ・ 褥瘡対策出張講座
- ・ 認知機能低下研究会による初期認知症対策に係る検討

を行った。また、社会的要請に対して、講師派遣の協力等により地域支援に努めた。

1-5 災害等発生時における医療救護

医療救護活動の拠点機能を担うため、災害発生時に備えて体制の充実、訓練を実施した。

- ・ 中部ブロックDMA T訓練への参加（協力）と併せて、当院独自訓練としてBCP計画の策定に向けて各種検証を実施し、発災時から災害患者等の受入れまでを中心としたBCP計画を策定、運用を進めた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

人員の弾力的配置と地方独立行政法人のメリットを活かした人材確保により、看護体制の確保を図るとともに、業務運営の見直しや効率化・費用節減の徹底として、医療機器保守点検料の見直し（スポット契約等）を行い、収支改善に努めた。

また、経営効率の高い業務執行体制の確立のため、職員と管理者との意見交換会開催による風通しの良い組織運営と、経営情報の共有による職員の経営意識の向上を図ることができた。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）

収支計画のうち収益の部については、昨年度に比較して営業収益で約1億3千6百万円の増額、営業外収益で約2百万円の減益となり、収益の部全体で約4億3千8百万円、約1億3千5百万円の増額となった。（年度計画に対しては約1億4千7百万円の減額）なった。

一方、費用の部について、昨年度に比較して営業費用で約3千3百万円の増額、営業外費用で約5百万円の減額、臨時損失で約4百万円の減額となり、費用の部全体で約4億8千9百万円、約2千3百万円余の増額となった。（年度計画に対しては約8千6百万円の減額）

この結果、昨年度と比較して約1億1千2百万円改善したものの、約5億1百万円の純損失となった。（年度計画では4億4千万円の純損失）

また、経常収支比率は、収支計画91.1%に対して、決算では89.6%（昨年度より2.2ポイント改善）、業収支比率は、収支計画95.2%に対し、93.1%（昨年度2.3ポイント改善）と、職員給与費対業収支比率は、収支計画78.7%に対し、決算では80.6%と、計画を下回る事となった。

来期以降も中期計画で定める経常収支比率100%以上、職員給与費対業収支比率60%以下、業収支比率100%以上を目指し、継続して経営努力を行っていく。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

就労環境の向上

職員の就労環境の向上のため、院内保育所の体制強化、人間ドック事業・定期健診の院内実施・健康管理セミナー開催などの健康管理対策を実施した。

平成27年度に締結したユニオンショップ協定を機に、労使による適正な労働環境の向上に引き続き努めた。

また、労働基準監督署による臨検により是正勧告を受けたため、改善報告を提出し、時間外勤務等の適正化に向け、時間外勤務の事前命令・事後確認の徹底、電子カルテアクセスログ等の適正管理、過重労働の縮減対策等に取り組んでいる。

医療機器整備

新病院の移転改築に伴い維持管理経費等が増大したことから、医療機器の整備については必要最低限に止めたが、補助金を活用し内視鏡ビデオシステム等の整備を行うなど、地域医療に不可欠な医療機器の充実を図った。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅲ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅲ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅲ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	14	Ⅲ	
1-5-3 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	15	Ⅲ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	16	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	17	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの構築	18	Ⅳ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	19	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンスの徹底	20	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	21	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	22	Ⅳ	
2-2-2 収入の確保	23	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	24	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	25	Ⅱ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	26	Ⅱ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	27	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	28	Ⅲ	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	29	Ⅲ	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
経常収益 (千円)	4,109,551	4,202,828	4,337,756	—	—
経常費用 (千円)	4,746,120	4,812,193	4,839,411	—	—
経常利益 (千円)	▲636,569	▲609,365	▲501,655	—	—
従事人員数 (人)	375	388	395	—	—

V 項目別の状況

主な指標								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			経常収支比率	100 %以上	81.6 %	86.6 %	87.4 %	89.6 %
医業収支比率	100 %以上	—	90.6 %	90.8 %	93.1 %	—	—	
職員給与費対医業収益比率	60 %以下	83.3 %	80.9 %	82.9 %	80.6 %	—	—	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 飛騨地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用を努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて飛騨地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、専門的なりハビリ治療の実施など、予防から治療・回復に至る一貫した高度・専門的な医療の提供に加え、へき地医療の拠点病院として診療所への医療支援、高齢人口が多い地域性を踏まえた診療科機能の充実及び在宅療養支援の充実を図ること。 また、第2次救急告示病院としての役割を維持すること。</p>
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○ 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用） 募集情報を登録 5社 （うち1社：採用情報提供サービスに係る有料契約を締結） 平成29年度 採用（医師） 3名 常勤医不在の診療科（小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>病院移転後の財務状況から、高額な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。</p> <p>平成29年度は補助金の活用により内視鏡ビデオシステムを更新した。</p> <p>核医学検査装置は補助事業の採択を得られなかったため、平成30年度に各種助成制度等を活用して購入する予定である。</p> <p>更新・整備を行った高額医療機器（予定価格2,000万円以上）の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>1,059</td> <td>1,664</td> <td>1,691</td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>311</td> <td>343</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>H25</td> <td>3,321</td> <td>3,050</td> <td>3,341</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H29</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26～27 高額医療機器の整備実績なし ※手術用顕微鏡システムは、H29.1～3月までの稼働実績 ※内視鏡ビデオシステム（H29）は、H30.3月のみの稼働実績</p>	機器名	整備年度	27年度	28年度	29年度	内視鏡ビデオシステム	H25	1,059	1,664	1,691	X-TV透視診断装置	H25	311	343	350	MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	3,321	3,050	3,341	手術用顕微鏡システム	H28	—	3	6	内視鏡ビデオシステム	H29	—	—	21	III	<p>医師の確保（3名）、PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）の試行・定着への取り組み、インシデント・アクシデント報告の分析と情報共有の進展、医療安全管理に関する各種研修会への参加者の増、及び院内感染防止マニュアルの改訂や感染管理教育の充実については評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。</p>
機器名	整備年度	27年度	28年度	29年度																															
内視鏡ビデオシステム	H25	1,059	1,664	1,691																															
X-TV透視診断装置	H25	311	343	350																															
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	3,321	3,050	3,341																															
手術用顕微鏡システム	H28	—	3	6																															
内視鏡ビデオシステム	H29	—	—	21																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																									
		<p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <tr> <td>27 年度</td> <td>28 年度</td> <td>29 年度</td> </tr> <tr> <td>2,008 回</td> <td>1,717 回</td> <td>1,222 回</td> </tr> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部において、ワークライフバランス（WLB：仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み）の推進に取り組んだ。 退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」を引き続き行い、病棟看護師が部署を離れずケアに専念できるよう取り組んだ。 看護の質向上と拘束時間の短縮を目的として、全ての病棟において新たな看護方式「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）」を試行し、PNSの定着を図った。また、パートナーシップマインドを育成するために、マインド研修を行った（看護師の参加率は95.9%）。 WLB推進事業委員会を毎月開催し、院内誌「かえる通信」を通じて、職員紹介、福利厚生情報等の提供を行った。 法人化のメリットである弾力的な職員採用（随時募集・年2回の就職試験）を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。 再就職支援者研修を2回計画したが、参加者はなかったため、今後は、県看護協会・県ナースセンターが主催する看護職員等就業促進研修事業への参加、院内ポスターの掲示、下呂市が発行する機関誌への掲載など、再就職を支援する。（●） <p>看護師等に係る採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職種別</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	27 年度	28 年度	29 年度	2,008 回	1,717 回	1,222 回	職種別		27 年度	28 年度	29 年度	常勤	看護師	8	12	14	助産師	1	-	-	保健師	-	-	-	非常勤	(専門業務) 看護師	3	1	1	(業務補助) 看護師	5	1	-	(専門業務) 看護補助者	-	-	-	(業務補助) 看護補助者	-	2	2			
27 年度	28 年度	29 年度																																												
2,008 回	1,717 回	1,222 回																																												
職種別		27 年度	28 年度	29 年度																																										
常勤	看護師	8	12	14																																										
	助産師	1	-	-																																										
	保健師	-	-	-																																										
非常勤	(専門業務) 看護師	3	1	1																																										
	(業務補助) 看護師	5	1	-																																										
	(専門業務) 看護補助者	-	-	-																																										
	(業務補助) 看護補助者	-	2	2																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																				
	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p>	<p>○ コメディカル等の医療従事者の確保 より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、薬剤師の欠員（1人）が充足できない状態が続いている。薬剤師の確保について、新たにHPへの掲載、実習生4名の受入れ、就職ガイダンスへの参加など取り組みを行ったが、今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。(●)</p> <p>コメディカル（常勤）採用活動の実績</p> <table border="1" data-bbox="577 533 1064 842"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績</p> <table border="1" data-bbox="577 943 1149 1043"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	職種別	27年度	28年度	29年度	薬剤師	0	0	0	臨床検査技師	0	1	2	臨床工学技士	1	0	0	診療放射線技師	2	0	1	理学療法士	2	2	2	言語聴覚士	0	0	2	管理栄養士	0	0	1	社会福祉士	0	2	0	職種別	27年度	28年度	29年度	(専門業務) 医師事務作業補助者	0	1	2	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。</p> <p>受入状況</p> <table border="1" data-bbox="1238 1310 1727 1409"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>3名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	27年度	28年度	29年度	岐阜大学医学部附属病院	3名	5名	4名		
職種別	27年度	28年度	29年度																																																						
薬剤師	0	0	0																																																						
臨床検査技師	0	1	2																																																						
臨床工学技士	1	0	0																																																						
診療放射線技師	2	0	1																																																						
理学療法士	2	2	2																																																						
言語聴覚士	0	0	2																																																						
管理栄養士	0	0	1																																																						
社会福祉士	0	2	0																																																						
職種別	27年度	28年度	29年度																																																						
(専門業務) 医師事務作業補助者	0	1	2																																																						
病院名	27年度	28年度	29年度																																																						
岐阜大学医学部附属病院	3名	5名	4名																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																																									
	4 認定看護師等看護の専門性を 高める資格取得の促進		<table border="1" data-bbox="1238 253 1729 376"> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>4 名</td> <td>3 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>0 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7 名</td> <td>9 名</td> <td>10 名</td> </tr> </table> <p>※歯科を含む。</p> <p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>○ 認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファーストレベル 2名修了 <p>○ 「新人看護職員教育研修」に従事する職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修責任者研修 2名 ・ 教育担当者研修 2名 ・ 実地指導者研修 2名 <p>○ その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護補助者活用推進研修 2名 ・ 災害ナース育成フォローアップ 6名 ・ 認知症ケア加算2研修 17名 ・ 肝疾患治療コーディネーター研修 1名 ・ 新生児蘇生法専門コースAコース 1名 <p>認定看護師数（各年度末時点）</p> <table border="1" data-bbox="1238 967 1729 1326"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリ テーション</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>-</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> </tr> </tbody> </table>	県総合医療センター	4 名	3 名	5 名	岐阜市民病院	0 名	1 名	1 名	計	7 名	9 名	10 名	分 野	27 年度	28 年度	29 年度	皮膚排泄ケア	1 名	1 名	1 名	感染管理	1 名	1 名	2 名	脳卒中リハビリ テーション	1 名	1 名	1 名	緩和ケア	1 名	1 名	1 名	摂食・嚥下	1 名	1 名	1 名	認定看護管理者	-	1 名	1 名	計	5 名	6 名	7 名		
県総合医療センター	4 名	3 名	5 名																																														
岐阜市民病院	0 名	1 名	1 名																																														
計	7 名	9 名	10 名																																														
分 野	27 年度	28 年度	29 年度																																														
皮膚排泄ケア	1 名	1 名	1 名																																														
感染管理	1 名	1 名	2 名																																														
脳卒中リハビリ テーション	1 名	1 名	1 名																																														
緩和ケア	1 名	1 名	1 名																																														
摂食・嚥下	1 名	1 名	1 名																																														
認定看護管理者	-	1 名	1 名																																														
計	5 名	6 名	7 名																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																												
5	コメディカルに対する専門研修の実施		<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施 コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <p>○ コメディカルの研修会・学会参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>8 名</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>12 名</td> <td>12 名</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>7 名</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>15 名</td> <td>19 名</td> <td>14 名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>24 名</td> <td>8 名</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>4 名</td> <td>3 名</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70 名</td> <td>53 名</td> <td>55 名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	27 年度	28 年度	29 年度	薬剤師	8 名	6 名	7 名	検査技師	12 名	12 名	11 名	臨床工学技士	7 名	5 名	6 名	放射線技師	15 名	19 名	14 名	リハビリ技師	24 名	8 名	13 名	管理栄養士	4 名	3 名	4 名	計	70 名	53 名	55 名														
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																														
薬剤師	8 名	6 名	7 名																																														
検査技師	12 名	12 名	11 名																																														
臨床工学技士	7 名	5 名	6 名																																														
放射線技師	15 名	19 名	14 名																																														
リハビリ技師	24 名	8 名	13 名																																														
管理栄養士	4 名	3 名	4 名																																														
計	70 名	53 名	55 名																																														
6	E BMの推進		<p>6 E BMの推進 電子カルテ運用において、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。</p> <p>今後、地域包括ケア病棟の利用を推進することで、7：1 病棟の平均在院日数の短縮を図るとともに、歯科入院、化学療法入院患者が増加傾向にあるため、クリニカルパスの見直し、改善、作成に取り組む。</p> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">内科</td> <td>種類数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">産婦人科</td> <td>種類数</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>265</td> <td>169</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>98.8</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小児科</td> <td>種類数</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>227</td> <td>126</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>99.2</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分		27 年度	28 年度	29 年度	内科	種類数	3	4	3	使用数	53	54	36	適用率	100.0	100.0	100.0	産婦人科	種類数	23	23	10	使用数	265	169	167	適用率	100.0	98.8	100.0	小児科	種類数	17	22	14	使用数	227	126	140	適用率	100.0	99.2	100.0		
区分		27 年度	28 年度	29 年度																																													
内科	種類数	3	4	3																																													
	使用数	53	54	36																																													
	適用率	100.0	100.0	100.0																																													
産婦人科	種類数	23	23	10																																													
	使用数	265	169	167																																													
	適用率	100.0	98.8	100.0																																													
小児科	種類数	17	22	14																																													
	使用数	227	126	140																																													
	適用率	100.0	99.2	100.0																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																															
	7 専門性を発揮したチーム医療の推進		<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進 インシデントレポートから業務改善に繋がった事例を業務改善計画書として記録し、対策の実施や評価に対してPDCAサイクルを回した。全部署から計26事例(全部署から最低1事例)の報告があり、医療安全担当者としての役割の認識を高めるとともに、業務改善につながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">委員会等名称</th> <th colspan="3">実施回数</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策室会議</td> <td>47</td> <td>39</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>看護事故防止委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>院内感染防止対策委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>感染対策室会議</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策委員会</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	委員会等名称	実施回数			27年度	28年度	29年度	医療安全管理委員会	12	12	12	医療安全対策室会議	47	39	45	看護事故防止委員会	12	12	12	院内感染防止対策委員会	12	12	12	感染対策室会議	29	28	31	褥瘡対策委員会	11	11	11		
委員会等名称	実施回数																																			
	27年度	28年度	29年度																																	
医療安全管理委員会	12	12	12																																	
医療安全対策室会議	47	39	45																																	
看護事故防止委員会	12	12	12																																	
院内感染防止対策委員会	12	12	12																																	
感染対策室会議	29	28	31																																	
褥瘡対策委員会	11	11	11																																	
	8 メディカカードの導入などのITの活用		<p>8 メディカカードの導入などのITの活用 ICカード化した診察券と既に先行導入されているメディカカードとの共通化について、技術的に可能であることを確認し、次の課題について検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用途の明確化(記録する情報の選定) ・ 下呂市及び下呂市医師会との連携 																																	
	9 医療安全対策の充実	<p>9 医療安全対策の充実</p> <p>○ インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントシステム: Safe Producer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2及び3(事故報告書)について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。また、インシデント報告事例で情報共有が必要なものに関して分析を行った。 ・ 各部門へのインシデント報告の必要性を周知し、レベル0報告の推進を行った結果、平成28年度より報告数が増えた。 ・ インシデント報告により、各部門間での情報共有につながり改善方法の検討に活かすことができた。 																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																												
		<p>インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,233 件</td> <td>1,381 件</td> <td>1,727 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>8 件</td> <td>11 件</td> <td>13 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,241 件</td> <td>1,392 件</td> <td>1,740 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度も引き続き、院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施した。 新人教育以外の職員に対して、薬剤の学習会の回数（4 回→5 回）を増やすなどした結果、学習会参加人数が増えた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研修名</th> <th colspan="6">回数・参加人数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">27 年度</th> <th colspan="2">28 年度</th> <th colspan="2">29 年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2</td> <td>626</td> <td>2</td> <td>662</td> <td>2</td> <td>715</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>49</td> <td>3</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>85</td> <td>5</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>51</td> <td>2</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>8</td> <td>76</td> <td>7</td> <td>61</td> <td>7</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>看護補助者対象研修会</td> <td>2</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>116</td> <td>4</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>BLS 研修会</td> <td>2</td> <td>38</td> <td>11</td> <td>300</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	区分	27 年度	28 年度	29 年度	インシデント	1,233 件	1,381 件	1,727 件	アクシデント	8 件	11 件	13 件	計	1,241 件	1,392 件	1,740 件	研修名	回数・参加人数						27 年度		28 年度		29 年度			回数	人数	回数	人数	回数	人数	医療安全全職員研修会	2	626	2	662	2	715	医療機器学習会	2	10	4	49	3	71	薬剤学習会	2	12	4	85	5	101	検査学習会	1	6	2	51	2	26	臨時研修会	3	17	3	43	0	0	新人研修	8	76	7	61	7	111	看護補助者対象研修会	2	30	4	116	4	36	BLS 研修会	2	38	11	300	1	13			
区分	27 年度	28 年度	29 年度																																																																																														
インシデント	1,233 件	1,381 件	1,727 件																																																																																														
アクシデント	8 件	11 件	13 件																																																																																														
計	1,241 件	1,392 件	1,740 件																																																																																														
研修名	回数・参加人数																																																																																																
	27 年度		28 年度		29 年度																																																																																												
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																																											
医療安全全職員研修会	2	626	2	662	2	715																																																																																											
医療機器学習会	2	10	4	49	3	71																																																																																											
薬剤学習会	2	12	4	85	5	101																																																																																											
検査学習会	1	6	2	51	2	26																																																																																											
臨時研修会	3	17	3	43	0	0																																																																																											
新人研修	8	76	7	61	7	111																																																																																											
看護補助者対象研修会	2	30	4	116	4	36																																																																																											
BLS 研修会	2	38	11	300	1	13																																																																																											
10	院内感染防止対策の確立	<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>○ 院内感染防止マニュアルの整備・周知</p> <p>院内感染防止に関係する次の 8 つのマニュアルを改訂し、紙媒体のファイルの差し替え及びグループウェア内の電子版の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策指針、感染症に基づく医師の届け出について、標準予防策と感染経路別予防策マニュアル、各種感染対策チェック表、疥癬感染対策マニュアル、血液・体液曝露による職業感染防止マニュアル、使用後器具の処理マニュアル、腸管感染症対策マニュアル 																																																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		<p>○ 感染管理教育の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="564 300 1164 1013"> <thead> <tr> <th></th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入転入職員研修</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>全体研修会</td> <td>4回、延 652 名 ①標準予防策 331 名 ②疥癬感染対策 160 名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39 名 ④疥癬感染対策 122 名</td> <td>16回、延 559 名 ①インフルエンザアウトブレイク 347 名 ②手袋の適正使用について 150 名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33 名 ④外来看護師対象 PPE (個人防護具) 着脱訓練 7回、25 名 ⑤薬剤部研修生リエンテーション 2回、4 名</td> </tr> <tr> <td>グループウェアを利用した情報発信</td> <td>・ NEWSレター : 3 通、 ・ 地域の感染症流行情報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日</td> <td>・ ミニクチャー等感染対策情報 : 15 回 ・ 岐阜県感染症発生動向調査週報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ ラウンドによる感染対策実施状況のチェック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICTラウンド <ol style="list-style-type: none"> ① 手指衛生直接観察 ② 部署環境チェック (臨床検査部、中央放射線科、リハビリテーション科) 2. 月 1 部署ラウンド : 病棟・外来・透析センター・手術室の感染対策環境チェック 3. 感染経路別予防策実施状況の確認 4. 感染対策地域連携加算算定要件である相互チェック対応ラウンド 5. その他 : 手指衛生環境整備の確認、感染性廃棄物状況の確認、ノロウイルス、インフルエンザ流行シーズン前の確認 		28 年度	29 年度	新入転入職員研修	4回	4回	全体研修会	4回、延 652 名 ①標準予防策 331 名 ②疥癬感染対策 160 名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39 名 ④疥癬感染対策 122 名	16回、延 559 名 ①インフルエンザアウトブレイク 347 名 ②手袋の適正使用について 150 名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33 名 ④外来看護師対象 PPE (個人防護具) 着脱訓練 7回、25 名 ⑤薬剤部研修生リエンテーション 2回、4 名	グループウェアを利用した情報発信	・ NEWSレター : 3 通、 ・ 地域の感染症流行情報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日	・ ミニクチャー等感染対策情報 : 15 回 ・ 岐阜県感染症発生動向調査週報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日			
	28 年度	29 年度															
新入転入職員研修	4回	4回															
全体研修会	4回、延 652 名 ①標準予防策 331 名 ②疥癬感染対策 160 名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39 名 ④疥癬感染対策 122 名	16回、延 559 名 ①インフルエンザアウトブレイク 347 名 ②手袋の適正使用について 150 名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33 名 ④外来看護師対象 PPE (個人防護具) 着脱訓練 7回、25 名 ⑤薬剤部研修生リエンテーション 2回、4 名															
グループウェアを利用した情報発信	・ NEWSレター : 3 通、 ・ 地域の感染症流行情報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日	・ ミニクチャー等感染対策情報 : 15 回 ・ 岐阜県感染症発生動向調査週報 : 毎週 1 回 ・ インフルエンザ 流行状況 : 流行期間中毎日															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																			
			<p>○ 院内ラウンド実施回数：4回 主に院内環境面をチェックするラウンドを実施。 【主な改善事項】傘立ての整理、掲示物の点検、除草等の要望、物品の整理整頓等</p> <p>○ 患者サービス向上委員会が主体となって、病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も行った。 第1回 6月22日 17:15～17:45 54名 第2回 9月13日 17:15～17:45 51名</p> <p>○ 正面玄関に季節の飾り物を設置し、癒しの空間作りに努めた（七夕、月見、ハロウィン、クリスマス、正月、雛飾り）。</p> <p>○ 院内防犯体制の強化 ・ 夜間の防犯体制強化のため、夜8時以降（売店閉店時間）の1階通路を制限するとともに、警備員による巡視点検回数を増やした。</p> <p>○ 個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者に対して、食事内容についての理解を促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1240 1050 1767 1193"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">計画書作成件数</td> <td>1,360 件</td> <td>1,344 件</td> <td>1,558 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別 指導</td> <td>入院</td> <td>185 件</td> <td>203 件</td> <td>268 件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>195 件</td> <td>181 件</td> <td>206 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 平成29年9月30日に開催した「ふれ愛フェスタ」では、コンサートや健康相談、栄養・感染防止・摂食嚥下・ベビービクス等の相談・指導、フリーマーケットを行った。フリーマーケットの売上の一部は、当院で実施しているピンクリボンキャンペーンに寄付を行った。</p>	区 分		27 年度	28 年度	29 年度	計画書作成件数		1,360 件	1,344 件	1,558 件	個別 指導	入院	185 件	203 件	268 件	外来	195 件	181 件	206 件		
区 分		27 年度	28 年度	29 年度																				
計画書作成件数		1,360 件	1,344 件	1,558 件																				
個別 指導	入院	185 件	203 件	268 件																				
	外来	195 件	181 件	206 件																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																											
3	医療に関する相談体制の充実	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>○ 医療相談室には、社会福祉士 3 名（対前年 1 名増）、看護師 3 名の計 6 名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。</p> <p>問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>2,654 件</td> <td>4,439 件</td> <td>4,128 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 接遇マナーの啓発活動の一環として啓蒙ポスターを作成し掲示した。また、平成 29 年 10 月に接遇マナーチェックを実施した。委託職員を含む 460 名に配布、99%の回収率であった。</p> <p>マナーチェック結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93%</td> <td>91%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84%</td> <td>84%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設問毎の平均割合</p>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	医療福祉相談	2,654 件	4,439 件	4,128 件	項目	「概ねできている」以上の回答割合			27 年度	28 年度	29 年度	態度・表情等	93%	91%	93%	身だしなみ	92%	95%	95%	電話対応	84%	84%	85%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>約 300 人</td> <td>約 300 人</td> <td>約 300 人</td> </tr> <tr> <td>職員ボランティア</td> <td>110 人</td> <td>114 人</td> <td>113 人</td> </tr> <tr> <td>市民ボランティア</td> <td>－</td> <td>4 人</td> <td>2 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	来場者数	約 300 人	約 300 人	約 300 人	職員ボランティア	110 人	114 人	113 人	市民ボランティア	－	4 人	2 人		
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																													
医療福祉相談	2,654 件	4,439 件	4,128 件																																													
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																															
	27 年度	28 年度	29 年度																																													
態度・表情等	93%	91%	93%																																													
身だしなみ	92%	95%	95%																																													
電話対応	84%	84%	85%																																													
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																													
来場者数	約 300 人	約 300 人	約 300 人																																													
職員ボランティア	110 人	114 人	113 人																																													
市民ボランティア	－	4 人	2 人																																													
4	患者中心の医療の提供		<p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>○ カルテ等の医療情報開示は、診療情報の提供に関する指針等に基づき対応した。</p>																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
	5 インフォームドコンセントの 徹底、セカンドオピニオンの推進		<p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1" data-bbox="1234 284 1693 389"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>10 件</td> <td>7 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>10 件</td> <td>7 件</td> <td>2 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ ピンクリボンキャンペーン（乳がん検診の早期受診推進運動）への賛同 マンモグラフィー（乳房X線診断装置）乳がん無料検診を実施した（平成 29 年 10 月 15 日）。平成 23 年度から経費の一部は寄付金を活用しており、検査料は無料（定員 30 名）。平成 29 年度は 10 名が受診したものの、前年度から減少した。これまでは、「1 度でもピンクリボン運動で受診したことがある方は除外する」としていたが、「直近の 3 年間にピンクリボン運動により受診したことがある方は除外する」というように条件を緩和することにより受診者数の増加・回復に努める。（●）</p> <p>乳がん無料検診数</p> <table border="1" data-bbox="1234 834 1756 903"> <thead> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29 名</td> <td>27 名</td> <td>10 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者・その家族には、インフォームドコンセントの徹底を図り、規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院時の入院治療計画の提示 手術や検査の事前説明 <p>セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1" data-bbox="1234 1189 1756 1302"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず、一般外来として受け入れている。</p>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	請求件数	10 件	7 件	2 件	開示件数	10 件	7 件	2 件	27 年度	28 年度	29 年度	29 名	27 名	10 名	項目	27 年度	28 年度	29 年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	3 件	1 件	1 件		
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																
請求件数	10 件	7 件	2 件																																
開示件数	10 件	7 件	2 件																																
27 年度	28 年度	29 年度																																	
29 名	27 名	10 名																																	
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																
外来受入	—	—	—																																
他院紹介	3 件	1 件	1 件																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由										
	6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映		<p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 各種アンケートの実施など様々な機会を捉え、患者等から意見を聴取し、これを基に対処策を取った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 退院時アンケート調査を11月に実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象患者数：退院133名、回答者111名 (回収率83.5%) ・ 施設・接遇・診療・サービスに対する説明等計4項目 <table border="1" data-bbox="1249 507 1668 671"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>「良い」以上の評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設面</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>接遇面</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>診療面</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>サービス面</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table> ○ 院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 御礼・感謝7件、苦情20件、要望9件、計36件 ○ 病院周辺道路の整備要望 来院者の安全確保を図るため、病院周辺道路の整備を国土交通省（高山国道事務所）や下呂市に要望し、舗装の補修等の実施につながった。 ○ 地域住民との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い、地域の人々との交流に努めた。 平成29年6月27日：81名 平成29年9月30日：88名 計169名 ・ 下呂温泉祭り行事協力 「いで湯卓球大会」「龍神火祭り」8月1日～3日、「花火」等救護班10名 ・ 病院運営協議会（実施日：平成29年12月5日） 地域住民の代表者に参集いただき、病院の財務状況や 	アンケート項目	「良い」以上の評価割合	施設面	81%	接遇面	86%	診療面	94%	サービス面	90%		
アンケート項目	「良い」以上の評価割合														
施設面	81%														
接遇面	86%														
診療面	94%														
サービス面	90%														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
			取組を紹介し、病院の今後のあり方等について意見交換を行った。																		
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤部長に当院の元薬剤部長として実績のある人材を再任用職員（フルタイム）として招へいした。 平成 28 年度末に定年を迎えた技師長 1 名について、その専門性を考慮し、定年延長（再延長）を行った。 夜間救急受付業務については、一部非常勤業務補助職員を採用し対応していたが、平成 29 年度に新たに 3 名の消防職員 OB を採用し、計 5 名体制とした。これにより、常勤職員の夜間当直業務を廃止し、職員の負担軽減を図った。 平成 28 年度末で定年退職を迎えた薬剤師 1 名について、引き続き再雇用職員（フルタイム）として雇用した。 また、定年退職した看護師 3 名、診療放射線技師 2 名について、引き続き非常勤職員として雇用した。 	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応を行った。 救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを引き続き利用し、円滑な診療体制を維持した。 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き午後 5 時以降の夜間透析や小児リハビリ、手外科リハビリに取り組んだ。 <p>(患者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33 名</td> <td>42 名</td> <td>48 名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25 名</td> <td>10 名</td> <td>54 名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	夜間透析	2 名	2 名	2 名	小児リハビリ	33 名	42 名	48 名	手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名	III	<p>手外科リハビリについては、作業療法士を 1 名増員し、急性期や外来での患者数を増やすことができた。</p> <p>夜間救急業務については、新たに 3 名の消防職員 OB を採用、計 5 名体制とし、常勤職員の夜間当直業務を廃止、職員の負担軽減を図ったこと、及び薬剤部長に当院の元薬剤部長として実績のある人材を再任用職員（フルタイム）として招へいするなど、多様な専門職の積極的な活用をしたことについては評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。</p>
項目	27 年度	28 年度	29 年度																		
夜間透析	2 名	2 名	2 名																		
小児リハビリ	33 名	42 名	48 名																		
手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名																		
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介</p>		III	<p>近隣の医療機関との連携の強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担に努め、</p>																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
	の明確化と連携強化による紹介 率・逆紹介率の向上	<p>率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関との連携の強化を推進し、地域診療所(かかりつけ医)と当院の役割分担に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>34.4%</td> <td>37.8%</td> <td>41.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,336 件</td> <td>2,513 件</td> <td>2,437 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>37.9%</td> <td>43.6%</td> <td>50.3%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>3,881 件</td> <td>4,164 件</td> <td>4,550 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 歯科を除く。</p> <p>○ 下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携 情報交換を行うなど連携の確保に努め、金山病院新人看護師の研修に当院が引き続き協力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂市医療機関担当課長会議を平成29年6月23日に開催し、情報交換及び共有を行った。 金山病院新人看護師1名が、当院での研修に参加した。 下呂市主催による「下呂市地域医療セミナー2017」に協力し、岐阜大学医学部医学生2名を対象に、地域医療の現状等について説明した。 	項目	27 年度	28 年度	29 年度	紹介率	34.4%	37.8%	41.3%	紹介実施件数	2,336 件	2,513 件	2,437 件	逆紹介率	37.9%	43.6%	50.3%	逆紹介実施件数	3,881 件	4,164 件	4,550 件	<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <p>○ 「東濃地域脳卒中地域連携パス」及び「飛騨地域がん地域連携クリニカルパス」を活用し、参画病院との連携を密に該当する患者に対して、継続性ある医療の提供に努めた。</p> <p>また、当院は計画管理病院の転院先となる回復リハビリテーション病院のうちの一つになっているが、患者の選択に際し、地理的な問題もあり、平成28年度に引き続きの運用実績は0件であった(次年度に引き続いている症例を除く)。今後、地域連携クリニカルパスの普及に向け拠点病院と意見交換を行うなど整備普及を促進する。(●)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>	連携パス名	27 年度	28 年度	29 年度	東濃地域脳卒中地域連携パス	1 件	0 件	0 件		紹介率、逆紹介率が向上している点については評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。
項目	27 年度	28 年度	29 年度																														
紹介率	34.4%	37.8%	41.3%																														
紹介実施件数	2,336 件	2,513 件	2,437 件																														
逆紹介率	37.9%	43.6%	50.3%																														
逆紹介実施件数	3,881 件	4,164 件	4,550 件																														
連携パス名	27 年度	28 年度	29 年度																														
東濃地域脳卒中地域連携パス	1 件	0 件	0 件																														
	2 地域連携クリニカルパスの整備普及																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由													
	<p>3 救急医療コミュニティシステム等の活用</p> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携の強化</p>		<table border="1"> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携 クリニカルパス</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </table>	飛騨地域がん地域連携 クリニカルパス	0 件	0 件	0 件														
飛騨地域がん地域連携 クリニカルパス	0 件	0 件	0 件																		
			<p>○ CKD予防に取り組む連携パスの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度より CKD 手帳を発行しているが、ほとんど活用されることはなかった。 当院に来院される方の多くが末期腎不全に近い状態であること、高齢者も多く厳密な食事管理や生活管理が困難であること等から、CKD 手帳を利用した継続的な自己管理につながっていない現状がある。 今後は、CKD 手帳の早期導入について、かかりつけ医に働きかけるほか、CKD 手帳の中に末期腎不全の教育的な内容を盛り込むよう関係者と調整し、連携パスの普及を促進する。(●) 																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続支援を行った eGFR30 以下の患者数</td> <td>106</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>うち CKD 手帳の利用者数</td> <td>18</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>うち腎臓内科受診者数</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>うち透析導入患者数</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援内容：検査記録の記載、生活状況の確認と改善のアドバイス、透析への準備教育</p>				区分	28 年度	29 年度	継続支援を行った eGFR30 以下の患者数	106	138	うち CKD 手帳の利用者数	18	21	うち腎臓内科受診者数	7	6	うち透析導入患者数	4	4
区分	28 年度	29 年度																			
継続支援を行った eGFR30 以下の患者数	106	138																			
うち CKD 手帳の利用者数	18	21																			
うち腎臓内科受診者数	7	6																			
うち透析導入患者数	4	4																			
			<p>3 救急医療コミュニティシステム等の活用 患者情報を記録でき、他の医療機関等で記録情報を閲覧することで患者情報の共有化が可能となる IC カード型診察券の導入について引き続き検討した。</p> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携の強化</p> <p>○ ケア会議の実施 在宅復帰に向けて、リハビリ技師・医師・ケアマネ・訪問看護師・施設担当者・退院調整Ns・担当Nsが、本人・家族の思いを尊重しながらケア会議を開催することに重点を置いて取り組んだ。</p>																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																		
			<p>会議等実施件数</p> <table border="1" data-bbox="1234 300 1731 371"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケア会議</td> <td>152 件</td> <td>196 件</td> <td>195 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 訪問看護ステーションとの連携 訪問看護との連携強化及び在宅療養の理解のため、2名の看護師が訪問看護同行訪問を体験した。 訪問看護の現場、在宅療養者・家族の生活の様子を見学し、病院での看護について考える機会になった。今後は、患者が安心して在宅で暮らせるための退院後訪問を目指す。</p> <table border="1" data-bbox="1234 580 1671 654"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護同行訪問数</td> <td>15 名</td> <td>2 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 多職種連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内多職種カンファレンス、地域の支援担当者との合同カンファレンス等を通じて、課題を検討する場が増えた。 ・ 下呂市医師会主催の「多職種連携による医療・介護の輪会議」に年3回参加した。下呂市における課題について話し合いをし、顔の見える関係づくりを構築した。 第1回 平成29年10月5日 71名 第2回 平成29年11月9日 92名 第3回 平成30年1月25日 88名 <p>○ 診療報酬算定への取り組み</p> <table border="1" data-bbox="1234 1035 1776 1217"> <thead> <tr> <th>診療報酬</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携指導料</td> <td>17 件</td> <td>16 件</td> <td>28 件</td> </tr> <tr> <td>退院時共同指導料</td> <td>20 件</td> <td>26 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>【旧 退院調整加算】</td> <td>0 件</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>退院支援加算 2</td> <td>-</td> <td>257 件</td> <td>214 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※介護支援連携指導料：ケアマネージャーとの連携を評価 ※退院時共同指導料：退院時に地域医療機関との連携を評価 ※退院支援加算 2：H28.4月から開始。今後、退院支援の質向上を目指し、退院支援加算 1 の算定に向け取り組む。</p>	会議名	27 年度	28 年度	29 年度	ケア会議	152 件	196 件	195 件	項目	28 年度	29 年度	訪問看護同行訪問数	15 名	2 名	診療報酬	27 年度	28 年度	29 年度	介護支援連携指導料	17 件	16 件	28 件	退院時共同指導料	20 件	26 件	5 件	【旧 退院調整加算】	0 件	-	-	退院支援加算 2	-	257 件	214 件		
会議名	27 年度	28 年度	29 年度																																				
ケア会議	152 件	196 件	195 件																																				
項目	28 年度	29 年度																																					
訪問看護同行訪問数	15 名	2 名																																					
診療報酬	27 年度	28 年度	29 年度																																				
介護支援連携指導料	17 件	16 件	28 件																																				
退院時共同指導料	20 件	26 件	5 件																																				
【旧 退院調整加算】	0 件	-	-																																				
退院支援加算 2	-	257 件	214 件																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																														
05	※ 重点的に取り組む医療 1 へき地医療の拠点的功能の充実 2 専門的なリハビリテーション治療の実施 3 急性期医療の推進	2 専門的なリハビリテーション治療の実施 ○ リハビリテーションの実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>30,141 人</td> <td>33,144 人</td> <td>34,486 人</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>87,403 単位</td> <td>88,854 単位</td> <td>91,706 単位</td> </tr> </tbody> </table> ○ 各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実、早期離床の推進及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定資格等</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>3 名</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>0 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>14 名</td> <td>15 名</td> <td>16 名</td> </tr> </tbody> </table> ※29 年度:理学療法士/作業療法士 計 20 名 ○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施(患者数) (No.3 再掲) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33 名</td> <td>42 名</td> <td>48 名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25 名</td> <td>10 名</td> <td>54 名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	実人数	30,141 人	33,144 人	34,486 人	疾患別リハ実施数	87,403 単位	88,854 単位	91,706 単位	認定資格等	27 年度	28 年度	29 年度	呼吸認定療法士	3 名	5 名	5 名	早期離床アドバイザー	0 名	1 名	1 名	福祉住環境コーディネーター	14 名	15 名	16 名	項目	27 年度	28 年度	29 年度	小児リハビリ	33 名	42 名	48 名	手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名	1 へき地医療の拠点的功能の充実 飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 平成 30 年度に向け、産婦支援事業(産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業)の導入について検討した。 3 急性期医療の推進 急性期医療の強化として、岐阜大学附属病院高次救命治療センターから医師の派遣を受け、地域県民が必要とする急性期医療の確保に寄与した。 ○ 招へい状況 毎月 1 回、延べ 12 日 救急患者受診者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,011 名</td> <td>4,933 名</td> <td>4,846 名</td> </tr> </tbody> </table>	27 年度	28 年度	29 年度	5,011 名	4,933 名	4,846 名	IV	予防医療の推進については、日曜健診や特定保健指導の実績増、1 日ドック・生活習慣病予防健診の受診者増に加え、新たに総合健診センターにおいて「物忘れドック」を実施することで、認知症の認知症の兆候を早期に発見し、症状の進行を緩和するための予防リハビリが進捗している。 これに加え、専門的なリハビリテーション治療の実施(リハビリ実施単位数の増、リハビリに係る認定資格の増)や、在宅療養支援体制の構築及び推進(延べ患者数・病床利用率の増)についても、対前年度と比べて実績が増え、継続的な取り組みが実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																																
実人数	30,141 人	33,144 人	34,486 人																																																
疾患別リハ実施数	87,403 単位	88,854 単位	91,706 単位																																																
認定資格等	27 年度	28 年度	29 年度																																																
呼吸認定療法士	3 名	5 名	5 名																																																
早期離床アドバイザー	0 名	1 名	1 名																																																
福祉住環境コーディネーター	14 名	15 名	16 名																																																
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																																
小児リハビリ	33 名	42 名	48 名																																																
手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名																																																
27 年度	28 年度	29 年度																																																	
5,011 名	4,933 名	4,846 名																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																														
4	予防医療の推進	<p>4 予防医療の推進</p> <p>平成 26 年度以後、旧下呂町（6 地区）の住民健診を当院で実施することにより、健康診断率の向上と予防医療の推進を図っている。平成 28 年度から新たに、下呂市乳がん、前立腺がん検診を受託しているが、平成 28 年度よりも約 150 人受診者が増加し、収益面での増収となった。また、勤労者のために、「日曜健診」を 3 回実施し、83 名の受診者を受け入れた。</p> <p>日曜健診の実施人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72 名</td> <td>87 名</td> <td>83 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>総合健診センター部 受診者数 (単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日ドック</td> <td>1,053</td> <td>1,030</td> <td>1,069</td> </tr> <tr> <td>1 日+MR I</td> <td>88</td> <td>67</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>1,450</td> <td>1,556</td> <td>1,699</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,161</td> <td>1,598</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>668</td> <td>711</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td>定期健診（下呂病院、下呂看護）</td> <td>449</td> <td>455</td> <td>478</td> </tr> </tbody> </table>	27 年度	28 年度	29 年度	72 名	87 名	83 名		27 年度	28 年度	29 年度	1 日ドック	1,053	1,030	1,069	1 日+MR I	88	67	63	脳ドック	3	4	5	生活習慣病予防健診	1,450	1,556	1,699	下呂市がん検診	1,161	1,598	1,626	下呂市特定・すこやか健診	668	711	625	定期健診（下呂病院、下呂看護）	449	455	478	<p>救急車受入台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>1,077 件</td> <td>1,232 件</td> <td>1,216 件</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>2.94 台</td> <td>3.37 台</td> <td>3.33 台</td> </tr> </tbody> </table> <p>転院搬送件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D r へり</td> <td>26 件</td> <td>32 件</td> <td>31 件</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>50 件</td> <td>38 件</td> <td>44 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	27 年度	28 年度	29 年度	受入件数	1,077 件	1,232 件	1,216 件	一日平均台数	2.94 台	3.37 台	3.33 台	手 段	27 年度	28 年度	29 年度	D r へり	26 件	32 件	31 件	救急車	50 件	38 件	44 件		
27 年度	28 年度	29 年度																																																																	
72 名	87 名	83 名																																																																	
	27 年度	28 年度	29 年度																																																																
1 日ドック	1,053	1,030	1,069																																																																
1 日+MR I	88	67	63																																																																
脳ドック	3	4	5																																																																
生活習慣病予防健診	1,450	1,556	1,699																																																																
下呂市がん検診	1,161	1,598	1,626																																																																
下呂市特定・すこやか健診	668	711	625																																																																
定期健診（下呂病院、下呂看護）	449	455	478																																																																
区 分	27 年度	28 年度	29 年度																																																																
受入件数	1,077 件	1,232 件	1,216 件																																																																
一日平均台数	2.94 台	3.37 台	3.33 台																																																																
手 段	27 年度	28 年度	29 年度																																																																
D r へり	26 件	32 件	31 件																																																																
救急車	50 件	38 件	44 件																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																													
		<table border="1"> <tr> <td>下呂市肝炎ウィルス検査</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>その他(企業健診他)</td> <td>536</td> <td>672</td> <td>691</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,473</td> <td>6,156</td> <td>6,307</td> </tr> </table> <p>健康診断収益の推移 単位:千円(税抜)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>健康診断収益</td> <td>89,558</td> <td>93,011</td> <td>97,370</td> </tr> </table> <p>健診日当日に、指導対象となる受診者を選出し、特定保健指導の 勧奨や初回面接が実施できるよう業務の改善を行った結果、特定保 健指導の実施件数が、平成28年度より101件増の277件となった。 今後、さらに実施件数を増やすため、健診日初回面接を推奨して いくとともに、協会けんぽの受診者や集合契約の受診者などに対し て、重点的に指導勧奨を実施していく。</p> <p>特定保健指導実績</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>103件</td> <td>176件</td> <td>277件</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>県職員</td> <td>75.0</td> <td>75.0</td> <td>88.0</td> </tr> <tr> <td>県警</td> <td>60.0</td> <td>75.0</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>56.3</td> <td>61.2</td> <td>68.1</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>17.9</td> <td>29.1</td> <td>43.4</td> </tr> </table> <p>脳MRIのがん検査受診者数については、全体として前年度より 21件増加しており、がん等の早期発見に貢献することができた。</p> <p>認知症は進行性の疾患であり、早期発見、早期治療により認知 症の予防や進行を抑制することができるため、平成29年度に「も の忘れドック」を新設し、22件の受診があった。</p> <p>また、平成28年度に導入した「アミノインデックスがんリスク スクリーニング検査」については、3名の受診があった。</p>	下呂市肝炎ウィルス検査	65	63	51	その他(企業健診他)	536	672	691	合計	5,473	6,156	6,307		27年度	28年度	29年度	健康診断収益	89,558	93,011	97,370	27年度	28年度	29年度	103件	176件	277件		27年度	28年度	29年度	県職員	75.0	75.0	88.0	県警	60.0	75.0	66.7	教職員	56.3	61.2	68.1	協会けんぽ	17.9	29.1	43.4		
下呂市肝炎ウィルス検査	65	63	51																																															
その他(企業健診他)	536	672	691																																															
合計	5,473	6,156	6,307																																															
	27年度	28年度	29年度																																															
健康診断収益	89,558	93,011	97,370																																															
27年度	28年度	29年度																																																
103件	176件	277件																																																
	27年度	28年度	29年度																																															
県職員	75.0	75.0	88.0																																															
県警	60.0	75.0	66.7																																															
教職員	56.3	61.2	68.1																																															
協会けんぽ	17.9	29.1	43.4																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																				
		<p>脳MRI、胸部CT、腹部CT等 がん検査受診者数 (単位：名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MRI</td> <td>125</td> <td>106</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>134</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>119</td> <td>102</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>全身MRI・CT</td> <td>66</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>前立腺MRI</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>スクリーニング検査(※)</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>446</td> <td>370</td> <td>408</td> </tr> </tbody> </table> <p>※アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査</p> <p>○ 下呂地域認知機能低下予防研究会 下呂地域における「早期認知症予防システムの構築」を目指し、下呂市（地域包括センター）及び下呂市医師会及び薬剤師会と連携し、「認知症早期発見のための下呂式簡易知能検査」や「予防リハビリ」について検討を進めるとともに、地域シニアクラブの協力を得て、実際に試行することにより、その手法と有効性について検証を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知機能低下予防リハビリ研修（集団指導） <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2回</td> <td>26回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>実参加者数</td> <td>23名</td> <td>157名</td> <td>168名</td> </tr> <tr> <td>参加クラブ数</td> <td>1団体</td> <td>10団体</td> <td>3団体</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 予防リハビリ指導（院内個別指導） <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>4例</td> <td>5例(2)</td> <td>1例</td> </tr> <tr> <td>延べ実施数</td> <td>23回</td> <td>14回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28 5症例中、うち2例はH27と同一症例</p>	項目	27年度	28年度	29年度	脳MRI	125	106	127	胸部CT	134	115	115	腹部CT	119	102	93	全身MRI・CT	66	39	38	大腸CT	2	2	5	前立腺MRI	—	—	5	もの忘れドック	—	—	22	スクリーニング検査(※)	—	6	3	計	446	370	408	実績	27年度	28年度	29年度	実施回数	2回	26回	12回	実参加者数	23名	157名	168名	参加クラブ数	1団体	10団体	3団体	実績	27年度	28年度	29年度	症例数	4例	5例(2)	1例	延べ実施数	23回	14回	3回			
項目	27年度	28年度	29年度																																																																						
脳MRI	125	106	127																																																																						
胸部CT	134	115	115																																																																						
腹部CT	119	102	93																																																																						
全身MRI・CT	66	39	38																																																																						
大腸CT	2	2	5																																																																						
前立腺MRI	—	—	5																																																																						
もの忘れドック	—	—	22																																																																						
スクリーニング検査(※)	—	6	3																																																																						
計	446	370	408																																																																						
実績	27年度	28年度	29年度																																																																						
実施回数	2回	26回	12回																																																																						
実参加者数	23名	157名	168名																																																																						
参加クラブ数	1団体	10団体	3団体																																																																						
実績	27年度	28年度	29年度																																																																						
症例数	4例	5例(2)	1例																																																																						
延べ実施数	23回	14回	3回																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																			
5	在宅療養支援体制の構築及び 推進	<p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○ 地域包括ケア病棟 病床機能の役割分担として、地域包括ケア病棟を2棟76床を運用しており、当院では3つの病棟機能（急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期病棟）により、在宅療養支援体制を構築している。 地域包括ケア病棟の効率的な病棟運営を行うため、毎週1回を目的に、地域包括ケア病棟判定会議を開催し、地域包括ケア病棟への転棟時期を決定すると同時に早期在宅復帰支援を推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">東 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>10,718 人</td> <td>10,758 人</td> <td>10,941 人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>77.1%</td> <td>77.6%</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>36.3 日</td> <td>37.4 日</td> <td>33.5 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">西 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>1,007 人</td> <td>10,786 人</td> <td>11,041 人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>85.5%</td> <td>77.8%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>16.8 日</td> <td>34.6 日</td> <td>32.2 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※西4病棟（27年度実績）は、運用開始のH28.3月のみの実績</p> <p>○ 継続看護連絡会議 既存の退院支援プログラムの見直し、外来通院中からの継続的な支援方法等について検討を行った。</p> <p>会議の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア判定会議</td> <td>78 回</td> <td>112 回</td> <td>117 回</td> </tr> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>75 回</td> <td>81 回</td> <td>144 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導 当院の皮膚・排出ケア認定看護師による褥瘡相談（指導）体制を確立すると同時に、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係施設職員褥瘡ケア指導</td> <td>18 回</td> <td>9 回</td> <td>13 回</td> </tr> </tbody> </table>	病棟名・区分		27 年度	28 年度	29 年度	東 4	延べ患者数	10,718 人	10,758 人	10,941 人	病床利用率	77.1%	77.6%	78.9%	平均在院日数	36.3 日	37.4 日	33.5 日	西 4	延べ患者数	1,007 人	10,786 人	11,041 人	病床利用率	85.5%	77.8%	79.6%	平均在院日数	16.8 日	34.6 日	32.2 日	会議名	27 年度	28 年度	29 年度	地域包括ケア判定会議	78 回	112 回	117 回	継続看護連絡会議	75 回	81 回	144 回		27 年度	28 年度	29 年度	関係施設職員褥瘡ケア指導	18 回	9 回	13 回			
病棟名・区分		27 年度	28 年度	29 年度																																																				
東 4	延べ患者数	10,718 人	10,758 人	10,941 人																																																				
	病床利用率	77.1%	77.6%	78.9%																																																				
	平均在院日数	36.3 日	37.4 日	33.5 日																																																				
西 4	延べ患者数	1,007 人	10,786 人	11,041 人																																																				
	病床利用率	85.5%	77.8%	79.6%																																																				
	平均在院日数	16.8 日	34.6 日	32.2 日																																																				
会議名	27 年度	28 年度	29 年度																																																					
地域包括ケア判定会議	78 回	112 回	117 回																																																					
継続看護連絡会議	75 回	81 回	144 回																																																					
	27 年度	28 年度	29 年度																																																					
関係施設職員褥瘡ケア指導	18 回	9 回	13 回																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由									
		<p>○ 在宅療養ハンドブック 外来部門では、「在宅療養ハンドブック」を基に、患者情報を共有するとともに、継続看護が必要な患者に対し、生活指導を行うなど有効に活用することができた。</p> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導料（専門性の高い訪問看護実施） 平成 28 年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を開始している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>訪問看護・指導内容</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>3 回</td> <td>6 回</td> </tr> </tbody> </table>	訪問看護・指導内容	28 年度	29 年度	緩和ケア(退院後指導)	1 回	1 回	褥瘡ケア	3 回	6 回			
訪問看護・指導内容	28 年度	29 年度												
緩和ケア(退院後指導)	1 回	1 回												
褥瘡ケア	3 回	6 回												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

コメディカル等の医療従事者の確保 (●)

- 薬剤師の欠員（1 人）が充足できていない状態が続いていることについて、平成 29 年度は次のような取り組みを行った。
 - ・ 病院のホームページに薬剤部のページを新設し、当院での薬剤師の業務紹介や病院見学受入れなどについて、情報発信を行った。
 - ・ 採用試験の募集要項を、日本病院薬剤師会や岐阜県病院薬剤師会のホームページに掲載し PR を行った。
また、薬剤部のある全国の大学へ募集要項を送付した。
 - ・ 臨床実習生（大学 5 年生）4 名を受け入れた。
 - ・ 8 月に開催された薬剤部生を対象にした「飛騨高山実地研修」に薬剤部長が参加し、当院の PR を行った。
 - ・ 下呂市就職ガイダンスへの参加、「求人情報げろ」に薬剤師を含む職員募集について掲載し、PR を行った。

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び飛騨地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 調査及び臨床研究等の推進</p>		<p>1 調査及び臨床研究等の推進 薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより受託件数の増加を促している。</p> <p style="text-align: center;">受託実績 ※契約締結数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">受託内容</th> <th style="text-align: center;">27 年度</th> <th style="text-align: center;">28 年度</th> <th style="text-align: center;">29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">使用成績調査</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> <td style="text-align: center;">2 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特定使用成績調査</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> </tbody> </table>	受託内容	27 年度	28 年度	29 年度	使用成績調査	1 件	2 件	0 件	特定使用成績調査	0 件	1 件	1 件	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
受託内容	27 年度	28 年度	29 年度														
使用成績調査	1 件	2 件	0 件														
特定使用成績調査	0 件	1 件	1 件														
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムに蓄積されたデータを利用して、診療委員会における報告書や、診療実績、収支状況等の経営概要一覧を作成し、それらを毎月行う管理会議で職員に資料提示して病院の実状を周知させ、経営改善に向けてよりよい医療体制づくりに努めた。 また、各部署からの照会に対し、電子カルテ検索システムやDPCに関わるデータから資料を作成して提供した。</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 各々の症例に関して、カンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い、成績の向上に努めた。</p>	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
			<p>また、各研究機関等が運営している医療情報データベースに参加し、症例の登録を行うとともに、データの活用と分析を進めている。</p> <p>医療情報データベース等への症例登録状況</p> <table border="1" data-bbox="1234 400 1767 608"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NOBUNAGA登録</td> <td>232 例</td> <td>174 例</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>NCD (外科)</td> <td>83 例</td> <td>67 例</td> <td>124 例</td> </tr> <tr> <td>NCD (脳外科)</td> <td>52 例</td> <td>61 例</td> <td>31 例</td> </tr> <tr> <td>地域がん登録</td> <td>36 例</td> <td>0 例</td> <td>0 例</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>145例</td> </tr> </tbody> </table> <p>※NOBUNAGA調査登録はH28年9月で終了</p> <p>年報 41 号を発刊、業績・経営概要・論文等について平成 28 年度の実績をまとめ、関係機関等に配布した。また病院 HP にも掲載し、その内容を公表した。</p>	種類	27年度	28年度	29年度	NOBUNAGA登録	232 例	174 例	—	NCD (外科)	83 例	67 例	124 例	NCD (脳外科)	52 例	61 例	31 例	地域がん登録	36 例	0 例	0 例	全国がん登録	—	—	145例		
種類	27年度	28年度	29年度																										
NOBUNAGA登録	232 例	174 例	—																										
NCD (外科)	83 例	67 例	124 例																										
NCD (脳外科)	52 例	61 例	31 例																										
地域がん登録	36 例	0 例	0 例																										
全国がん登録	—	—	145例																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
			<p>名については、当院の脳神経外科医として引き続き勤務している。また、平成 25 年度から 27 年度に採用した臨床研修医 4 名のうち 3 名は、現在岐阜県内の病院に勤務しており、研修医の県内定着化につながった。</p> <p>初期臨床研修医数（各年 3. 31 時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医数</td> <td>3 名</td> <td>2 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>うち当該年度の 新規採用数</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>上記採用者の うち現在の勤務地が岐阜県 内である者</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	研修医数	3 名	2 名	1 名	1 名	うち当該年度の 新規採用数	1 名	1 名	0 名	1 名	上記採用者の うち現在の勤務地が岐阜県 内である者	1 名	1 名	—	—																						
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度																																									
研修医数	3 名	2 名	1 名	1 名																																									
うち当該年度の 新規採用数	1 名	1 名	0 名	1 名																																									
上記採用者の うち現在の勤務地が岐阜県 内である者	1 名	1 名	—	—																																									
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p>		<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○ 医学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>90 名</td> <td>93 名</td> <td>79 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3 名</td> <td>3 名</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>98 名</td> <td>102 名</td> <td>86 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ コメディカル等の実習受入実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>9 名</td> <td>13 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>—</td> <td>1 名</td> <td>3 名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	医学生	0 名	0 名	0 名	学校名	27 年度	28 年度	29 年度	下呂看護専門学校	90 名	93 名	79 名	岐阜県立看護大学	5 名	6 名	7 名	その他	3 名	3 名	0 名	計	98 名	102 名	86 名	職種	27 年度	28 年度	29 年度	理学療法士	9 名	13 名	9 名	作業療法士	—	1 名	3 名	Ⅲ	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																										
医学生	0 名	0 名	0 名																																										
学校名	27 年度	28 年度	29 年度																																										
下呂看護専門学校	90 名	93 名	79 名																																										
岐阜県立看護大学	5 名	6 名	7 名																																										
その他	3 名	3 名	0 名																																										
計	98 名	102 名	86 名																																										
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																										
理学療法士	9 名	13 名	9 名																																										
作業療法士	—	1 名	3 名																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																								
	2 救急救命士の病院実習など地域 医療従事者への研修の実施及び充 実		<table border="1" data-bbox="1234 252 1776 483"> <tr><td>言語聴覚士</td><td>1 名</td><td>1 名</td><td>- 名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>-</td><td>-</td><td>4 名</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>-</td><td>-</td><td>3 名</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>-</td><td>-</td><td>- 名</td></tr> <tr><td>医療事務</td><td>-</td><td>2 名</td><td>- 名</td></tr> <tr><td>計</td><td>10 名</td><td>17 名</td><td>19 名</td></tr> </table> <p data-bbox="1205 517 1570 544">○ 特別支援学校生徒の実習受入実績</p> <table border="1" data-bbox="1234 547 1536 628"> <tr><td>28 年度</td><td>29 年度</td></tr> <tr><td>1 名</td><td>1 名</td></tr> </table> <p data-bbox="1205 663 1771 751">○ 弥富看護学校の見学実習について ・ 小児看護学・老年看護学・統合実習については3名、 基礎看護学実習については2名の受入れを行った。</p> <p data-bbox="1205 788 1547 815">○ 下呂看護専門学校への講師派遣</p> <table border="1" data-bbox="1234 818 1753 1002"> <tr><td>職種</td><td>27 年度</td><td>28 年度</td><td>29 年度</td></tr> <tr><td>医師、歯科医師</td><td>9 名</td><td>9 名</td><td>7 名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>9 名</td><td>8 名</td><td>11 名</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>5 名</td><td>5 名</td><td>5 名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23 名</td><td>22 名</td><td>23 名</td></tr> </table> <p data-bbox="1205 1054 1778 1110">2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の 実施及び充実</p> <p data-bbox="1205 1118 1722 1145">○ 下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入実績</p> <table border="1" data-bbox="1234 1149 1767 1358"> <tr><td>実習項目</td><td>27 年度</td><td>28 年度</td><td>29 年度</td></tr> <tr><td>就業前教育実習</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td></tr> <tr><td>再教育実習</td><td>23 名</td><td>24 名</td><td>26 名</td></tr> <tr><td>薬剤投与実習</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td></tr> <tr><td>消防学校病院実習</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>計</td><td>26 名</td><td>28 名</td><td>28 名</td></tr> </table>	言語聴覚士	1 名	1 名	- 名	薬剤師	-	-	4 名	管理栄養士	-	-	3 名	社会福祉士	-	-	- 名	医療事務	-	2 名	- 名	計	10 名	17 名	19 名	28 年度	29 年度	1 名	1 名	職種	27 年度	28 年度	29 年度	医師、歯科医師	9 名	9 名	7 名	看護師	9 名	8 名	11 名	コメディカル	5 名	5 名	5 名	計	23 名	22 名	23 名	実習項目	27 年度	28 年度	29 年度	就業前教育実習	2 名	2 名	0 名	再教育実習	23 名	24 名	26 名	薬剤投与実習	0 名	2 名	0 名	消防学校病院実習	1 名	0 名	2 名	計	26 名	28 名	28 名		
言語聴覚士	1 名	1 名	- 名																																																																										
薬剤師	-	-	4 名																																																																										
管理栄養士	-	-	3 名																																																																										
社会福祉士	-	-	- 名																																																																										
医療事務	-	2 名	- 名																																																																										
計	10 名	17 名	19 名																																																																										
28 年度	29 年度																																																																												
1 名	1 名																																																																												
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																																																										
医師、歯科医師	9 名	9 名	7 名																																																																										
看護師	9 名	8 名	11 名																																																																										
コメディカル	5 名	5 名	5 名																																																																										
計	23 名	22 名	23 名																																																																										
実習項目	27 年度	28 年度	29 年度																																																																										
就業前教育実習	2 名	2 名	0 名																																																																										
再教育実習	23 名	24 名	26 名																																																																										
薬剤投与実習	0 名	2 名	0 名																																																																										
消防学校病院実習	1 名	0 名	2 名																																																																										
計	26 名	28 名	28 名																																																																										

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 岐阜大学医学部及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療学の研究と地域医療に携わる医師の養成を図ること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を努めるなどしている。</p> <p>また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を毎月開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。</p> <p>飛騨地域メディカルコントロール協議会の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会議：2回（5月12日、1月12日） ・感染防止マニュアル作成ワーキング会議：3回 （9月8日、9月21日、10月30日） ・感染対策研修会：1回（3月2日） <p>○ 当院医療機器の地域開業医等の共同利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>133 件</td> <td>125 件</td> <td>155 件</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>20 件</td> <td>25 件</td> <td>29 件</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>153 件</td> <td>150 件</td> <td>186 件</td> </tr> </tbody> </table>	医療機器	27年度	28年度	29年度	MR I	133 件	125 件	155 件	CT	20 件	25 件	29 件	心エコー	—	—	1 件	頸動脈エコー	—	—	1 件	計	153 件	150 件	186 件		III	当院医療機器の地域開業医等の共同利用が増えていることについては評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。
医療機器	27年度	28年度	29年度																										
MR I	133 件	125 件	155 件																										
CT	20 件	25 件	29 件																										
心エコー	—	—	1 件																										
頸動脈エコー	—	—	1 件																										
計	153 件	150 件	186 件																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																												
	<p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <p>3 へき地医療拠点病院としての地域医療支援</p>	<p>○ 開放型病床の導入</p> <p>医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、患者に対し安心した療養環境の提供が図られている。</p> <p>開放型病床利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(実人数)</td> <td>36名</td> <td>16名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>732名・日</td> <td>245名・日</td> <td>335名・日</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27年度	28年度	29年度	利用者数(実人数)	36名	16名	15名	利用延べ人数	732名・日	245名・日	335名・日	<p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <p>○ へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保診療所</td> <td>外科</td> <td>延12日</td> <td>延12日</td> <td>延11日</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>延0日</td> <td>延0日</td> <td>延0日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母子健康センター</td> <td>産婦人科</td> <td>延22日</td> <td>延23日</td> <td>延20日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>延34日</td> <td>延35日</td> <td>延31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 へき地医療拠点病院としての地域医療支援</p> <p>総合健診センター部において、平成22年度より下呂市がん検診、特定健診、すこやか健診を実施している。</p> <p>平成26年度より、更に体制を整え下呂市との連携を密にして、地域別健診日を設定し、全ての住民健診を実施可能にするとともに、地域住民の受診率向上を目指した。</p> <p>平成28年度より下呂市乳がん、前立腺がん検診を受託したことにより、がん検診の受診者が増加している。</p> <p>○ 下呂市がん検診等の受診状況:【No.5再掲】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,161名</td> <td>1,598名</td> <td>1,626名</td> </tr> </tbody> </table>	出向先	診療科	27年度	28年度	29年度	東白川村国保診療所	外科	延12日	延12日	延11日	整形外科	延0日	延0日	延0日	東白川村母子健康センター	産婦人科	延22日	延23日	延20日	合計		延34日	延35日	延31日	種類	27年度	28年度	29年度	下呂市がん検診	1,161名	1,598名	1,626名		
項目	27年度	28年度	29年度																																														
利用者数(実人数)	36名	16名	15名																																														
利用延べ人数	732名・日	245名・日	335名・日																																														
出向先	診療科	27年度	28年度	29年度																																													
東白川村国保診療所	外科	延12日	延12日	延11日																																													
	整形外科	延0日	延0日	延0日																																													
東白川村母子健康センター	産婦人科	延22日	延23日	延20日																																													
合計		延34日	延35日	延31日																																													
種類	27年度	28年度	29年度																																														
下呂市がん検診	1,161名	1,598名	1,626名																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由						
			特定すこやか健診	668名	711名	625名								
			〃 肝炎ウイルス検査	65名	63名	51名								
11	※ 社会的な要請への協力		<p>下呂市が実施する「障がい児療育支援事業」に対し、当院から専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請に応えた。</p> <p>【派遣回数】</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> </table>				27年度	28年度	29年度	10回	10回	10回	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
27年度	28年度	29年度												
10回	10回	10回												
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催		<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>○ 公開講座等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ベビービクス ベビーマッサージ、エクササイズ等 (計12回 延べ54組(母児)) 分娩準備クラス お産の仕組み、入院方法、呼吸法等 (計12回 延べ37人) 「命のふれあい講座」(受講:6校 計90回) 下呂市内の全中学校へ助産師を派遣し、妊婦体験、産道体験、赤ちゃんを抱く体験を実施 摂食えん下障害看護学習会 院内研修 1回目15名、2回目11名、3回目5名 院外研修 1回目26名 (Ns3名、介護職18名、その他5名) 院外研修 2回目19名 (Ns9名、介護職3名、ケアマネジャー2名、その他5名) 褥瘡対策研修会出前講座 褥瘡の基礎、リスクアセスメント等 (8施設、延べ12回、延べ237名受講) 褥瘡対策研修会市民講座 1会場、延べ1回、延べ23名受講 <p>○ 感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域施設での感染対策研修会 さわやかナーシング: 				III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
	2 保健医療、健康管理等の情報提供		<p>① マイコプラズマ、感染性胃腸炎 50 名、 ② インフルエンザ・ノロウイルス感染対策：50 名 金山サニーランド：施設内外での感染対策：25 名 下呂市在宅医療感染対策研修会：疥癬の感染対策 ：100 名</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>○ 病院広報誌の発行 「健康と医療」を6月と12月に各3,000部発行。下呂市内全域、中津川市付知町及び加子母地区、加茂郡東白川村の住民に向け回覧にて配布し、新規検査の紹介やインフルエンザ感染予防策の他、医学生対象の地域医療セミナーやBCP訓練等の活動について情報提供を行った。</p> <p>○ 地域医師会等主催講演会への参加 地域医師会等主催の学術講演会に当院医師・看護師等が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>講師等で参加した回数・人数</p> <table border="1" data-bbox="1223 868 1671 992"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>8 回</td> <td>13 回</td> <td>12 回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>18 名</td> <td>30 名</td> <td>25 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定看護師の活動の実際を通して、看護の専門性を理解する目的で実施。 ・ 認定看護師と行動を共にし、他職種連携や一領域を極めてみたいなどの抱負や、就職の準備や心構えなど、多くの学びを与えることができた。 <table border="1" data-bbox="1227 1235 1697 1359"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>2 名</td> <td>8 名</td> <td>5 名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	回数	8 回	13 回	12 回	人数	18 名	30 名	25 名	項目	27 年度	28 年度	29 年度	実施回数	1 回	1 回	1 回	参加人数	2 名	8 名	5 名		
項目	27 年度	28 年度	29 年度																										
回数	8 回	13 回	12 回																										
人数	18 名	30 名	25 名																										
項目	27 年度	28 年度	29 年度																										
実施回数	1 回	1 回	1 回																										
参加人数	2 名	8 名	5 名																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由									
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際助産師の日イベント参加 ベビービクス、母乳育児相談の実施 ○ ふれあい看護体験2回/年 中高生を対象とした医療従事者の業務体験 <table border="1" data-bbox="1220 411 1653 517"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生対象</td> <td>16 名参加</td> <td>20 名参加</td> </tr> <tr> <td>高校生対象</td> <td>16 名参加</td> <td>10 名参加</td> </tr> </tbody> </table> ○ 摂食嚥下に係わる地域連携 摂食嚥下連絡表（嚥下の状態の違いを他施設へ情報提供するもの）を作成し、下呂市内での利用に向けて各施設との打ち合わせ準備をした。 食形態マップ（施設間の嚥下食の違いを写真で解りやすく示したもの）を作成し、当院HPに下呂市内の病院・介護施設での食形態マップを掲載した。 	項目	28 年度	29 年度	中学生対象	16 名参加	20 名参加	高校生対象	16 名参加	10 名参加		
項目	28 年度	29 年度												
中学生対象	16 名参加	20 名参加												
高校生対象	16 名参加	10 名参加												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	<p>による体制の整備</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p>	<p>新たに事業継続計画（BCP）を策定、運用を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時における病院事業継続（主に災害対策本部の立ち上げと災害時医療への移行）について、各所属（班別）別にアクションシートを定めた。 <p>なお、今回の事業継続計画は、発災時から災患者等の受入れまでを中心に策定を行っており、その後の行動や対策及び使用する付属文書等については今後の検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部ブロックDMAT訓練への参加（協力）と併せて、下呂温泉病院独自訓練（事業継続計画）を実施した。 平成29年10月8日 参加者約70名 	<p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p> <p>大規模災害時におけるデータ損失のリスクに対応するため、当院の電子カルテのバックアップを岐阜県立多治見病院に、また、岐阜県総合医療センター及び岐阜県立多治見病院の電子カルテバックアップは当院のサーバ内に平成27年度設置し、診療情報のバックアップシステムを構築している。</p>		<p>患者の受入れまでを中心としたBCP計画を策定、運用を進めたことについて評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。</p>
15	<p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮</p> <p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p>		<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域新型インフルエンザ等発生対応訓練を実施した。（平成30年1月31日） 訓練結果から、外来看護師を対象にフルPPE（個人用防護具）の着脱訓練を行った。 <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内感染防止対策研修を行った。（平成29年9月～11月） 	III	<p>継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。</p>

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理 業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
16	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入による合理化		1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 引き続き経営企画部門を中心に病院の経営分析・改善等に努め、医師確保・病院経営改善等に取り組んだ。 2 各種業務のIT化の推進 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を進めた。 3 アウトソーシング導入による合理化 アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討したほか、外部に委託した全ての委託事業について見直しを行った。 業務委託件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>72件</td> <td>74件</td> <td>77件</td> </tr> </table>	27年度	28年度	29年度	72件	74件	77件	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
27年度	28年度	29年度									
72件	74件	77件									

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	<p>4 経営効率の高い業務執行体制の充実</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</p>		<p>4 経営効率の高い業務執行体制の充実 毎月最終木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。必要に応じ行われる労使間の協議会や意見交換会で交わされた業務や経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い職場づくりに努めた。 【労使協議会回数】12回</p> <p>平成28年度末で定年となる職員について、本人の勤務評価・能力等を考慮した上で、病院経営に寄与すると認められる職員の定年延長(技師長1名)や非常勤専門職としての再雇用(コメディカル1名)を行い、引き続き雇用した。</p> <p>月次決算状況を理事長に提出する際、月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制に引き続き努めた。</p> <p>平成27年度に締結したユニオンショップ協定を機に、労使による適正な労働環境の向上に引き続き努めた。</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 毎朝行う幹部会において、危機管理事案の報告と併せて対策を講じるとともに、管理会議において情報共有を行った。</p> <p>夜間の防犯体制強化のため、夜8時以降(売店閉店時間)の1階通路を制限するとともに、警備員による巡視点検回数を増やした。【No.2再掲】</p> <p>災害対策マニュアルを見直し、災害レベルに応じた参集基準を定め、災害発生時における院内体制を整備した。</p>		
17	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p>		<p>1 弾力的運用の実施 ○ 柔軟な勤務配置 看護部では、状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の周知を行った。 業務量の多い時間帯に人員配置ができるよう病院規程中</p>	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
	2 効果的な体制による医療の提供		<p>の勤務時間パターンを増やし、患者の特徴にあわせて配置を行った。(食事介助の必要な患者が多い場合遅出の人数を増やす、手術開始時間が遅い場合遅出で対応等業務量の多い時間帯へ流動的に対応するなど)</p> <p>全部署からの支援時間数 単位：時間</p> <table border="1" data-bbox="1234 432 1662 501"> <thead> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,889.5</td> <td>3,711.0</td> <td>2,532.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 病棟薬剤業務実施加算(●) 薬剤師に係る欠員充当が実施できず、さらに労働基準監督署の指導により勤務体制の見直しを行ったため、病棟毎に担当者を貼り付けできなくなり、加算の取得には至っていない。今後も欠員を充当し、加算を取得することを目指す。</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供 【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</p> <p>○ 看護部では看護協会WLB(仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み)の推進を受けて、働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。 看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週30時間・週35時間勤務の非常勤職員も休日を含めた早出・遅出勤務を行うことで効率的な7:1看護体制の維持に取り組んだ。</p> <p>○ 医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。 ・ 医師事務作業補助体制加算(40対1)</p> <p>○ 医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化 ・ 平成27年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化し、効率的な業務遂行を図っている。</p> <p>医師事務作業補助者数ほか(各年度3.31時点)</p> <table border="1" data-bbox="1229 1295 1774 1406"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>6 名</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>医療サービス業務専門職</td> <td>19 名</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> </tr> </tbody> </table>	27 年度	28 年度	29 年度	3,889.5	3,711.0	2,532.1	職 種	27 年度	28 年度	29 年度	医師事務作業補助者	6 名	6 名	7 名	医療サービス業務専門職	19 名	20 名	20 名		
27 年度	28 年度	29 年度																					
3,889.5	3,711.0	2,532.1																					
職 種	27 年度	28 年度	29 年度																				
医師事務作業補助者	6 名	6 名	7 名																				
医療サービス業務専門職	19 名	20 名	20 名																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
	3 3法人間の人事交流による適 正な職員配置		<p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置 平成 29 年度は岐阜県総合医療センターへ助産師 1 名が出 向した。引き続き必要に応じて 3 法人間で相互に職員を派遣 し、医療サービスの水準を向上する。</p> <p>他法人からの受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>1 名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	27 年度	28 年度	29 年度	薬剤師	-	-	-	検査技師	-	-	-	臨床工学技士	-	-	-	計	0 名	0 名	0 名	職種	27 年度	28 年度	29 年度	看護師	-	-	-	助産師	-	-	1 名	薬剤師	-	-	-	計	0 名	0 名	1 名		
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																										
薬剤師	-	-	-																																										
検査技師	-	-	-																																										
臨床工学技士	-	-	-																																										
計	0 名	0 名	0 名																																										
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																										
看護師	-	-	-																																										
助産師	-	-	1 名																																										
薬剤師	-	-	-																																										
計	0 名	0 名	1 名																																										
18	※ 人事評価システムの構築	<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、 平成 28 年度から、事務局非常勤職員に対する人事評価の本格施行、 事務局常勤職員に対する試行（年度後半）を行っているが、平成 29 年度から、事務局常勤職員に加えコメディカル職員に対して、 年間を通じた人事評価（試行）を行った。</p> <p>また、職員の実績や資格等に対しても、再評価し、特別昇給へ の反映などで職員のモチベーションが下がらないようにした。</p> <p>看護部においては、引き続きクリニカルラダー評価により昇格・ 昇任・特別昇給を実施した。</p> <p>また、非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評 価後、師長・部長等面接を行うことにより、意欲向上に努めた。</p> <p>組織が望む能力を示したことで各自振り返り、教育への希望や 業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>		IV	人事評価については、評価 対象者の範囲を広げ（事務 局常勤職員に加え、コメデ ィカル職員も対象とした）、 期間も半年から年間を通 じた人事評価（試行）とし たことなどを評価し、項目 全体で特に進捗している と評価																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
19	※ 事務部門の専門性の向上		<p>【医事課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国がん登録研修会 2名 ・ 接遇トレーナー養成研修 1名 ・ 診療情報管理士資格取得に向けた通信教育受講 2名 平成29年度：2名取得 ・ 診療報酬管理研修会 1名 <p>【総務課・経営企画課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 採用戦略セミナー 1名 ・ 情報セキュリティ対策セミナー 1名 ・ 診療報酬改定セミナー 1名 ・ DPCデータ分析事例研究発表会(8/9) 1名 ・ がん登録実務初級者認定試験(8/3) 1名 ・ 全国がん登録実務者研修会(11/1) 1名 ・ 診療報酬管理士生涯教育特別研修会(6/20) 1名 <p>事務職員の状況(各年度3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>19名</td> <td>17名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>8名</td> <td>8名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	27年度	28年度	29年度	プロパー	19名	17名	18名	県派遣	8名	8名	7名	合計	27名	25名	25名	III	継続的な取り組みが実施できているが、 平年並みの実績と評価。
区分	27年度	28年度	29年度																		
プロパー	19名	17名	18名																		
県派遣	8名	8名	7名																		
合計	27名	25名	25名																		
20	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。	III	継続的な取り組みが実施できているが、 平年並みの実績と評価。																
21	※ 適切な情報管理		新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、日々進化する未知のウイルス・不正プログラムに対応するため次世代ファイアウォールを導入し、セキュリティ強化を図った。	III	継続的な取り組みが実施できているが、 平年並みの実績と評価。																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

病棟薬剤業務実施加算（●）

- 現在、各病棟に薬剤師を配置し薬剤管理指導業務を含めた業務を展開している。また、担当薬剤師によるカンファレンスなどを行い資質向上にも努めている。
しかし、薬剤師の欠員補充ができず実施加算の算定要件を満たさないため、引き続き人員の確保に努める。

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。
	※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。
	※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
22	※ 多様な契約手法の導入	<p>【管理担当】</p> <p>○ 平成 29 年度分からの電気需給契約については、契約方法を一者随契から一般競争入札とし、経費削減を図った。</p> <p>○ 医療機器のメンテナンス費用(保守委託)については、各部門長及び実施業者と業務内容の精査とその必要性を協議し、複数年契約業務も含めてスポット契約に切り換える等大幅に内容を見直し、経費削減を図った。</p> <p style="text-align: right;">単位：千円(税込)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>契約額</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>81,425</td> <td>78,376</td> <td>▲3,049</td> </tr> <tr> <td>放射線機器保守 11 件</td> <td>66,871</td> <td>51,202</td> <td>▲15,669</td> </tr> <tr> <td>検査装置保守 7 件</td> <td>12,164</td> <td>4,115</td> <td>▲8,049</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>160,460</td> <td>133,693</td> <td>▲26,767</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後、見直しによる修繕費の増加も考えられるため、見直しに伴う各機器の保守委託料とスポット契約後の修繕費を集計し、複数年で比較・分析の上、関係部署とより有利な契約方針を決定していくこととする。</p> <p>○ 次の維持管理業務については、平成 30 年度から 3 年間の複数年契約を改めて締結し、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図るとともに、経費の節減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 警備業務、機械、監視室等保全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務 	契約額	H28	H29	減額	電気料金	81,425	78,376	▲3,049	放射線機器保守 11 件	66,871	51,202	▲15,669	検査装置保守 7 件	12,164	4,115	▲8,049	計	160,460	133,693	▲26,767		IV	電気受給契約については、一般競争入札を導入することにより経費削減を図っている。また、医療機器のメンテナンス費用(保守委託)については、業務内容を精査し、複数年契約業務も含めてスポット契約に切り換える等大幅に内容を見直し、経費削減を図っている点を評価し、項目全体で特に進捗していると評価。
契約額	H28	H29	減額																						
電気料金	81,425	78,376	▲3,049																						
放射線機器保守 11 件	66,871	51,202	▲15,669																						
検査装置保守 7 件	12,164	4,115	▲8,049																						
計	160,460	133,693	▲26,767																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																				
23	※ 収入の確保 1 効率的な病床管理、医療機器の 効果的な活用		<p>1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。 「地域包括ケア病棟」について、週2回の定例転棟会議を実施するとともに、急性期病棟の稼働状況に合わせ、臨時的転棟会議を実施するなど、効率的な運用により入院収益の向上を図った。</p> <p>病床利用率（新病院：26年5月分から）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東3</td> <td>63.3%</td> <td>68.3%</td> <td>70.4%</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>77.1%</td> <td>77.6%</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>東5</td> <td>84.1%</td> <td>84.9%</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>92.5%</td> <td>91.3%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>60.0%</td> <td>77.8%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>70.2%</td> <td>83.2%</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>74.0%</td> <td>80.5%</td> <td>81.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 届出病床数206床 注2) 東4：H26.9～地域包括ケア病棟移行 注3) 西4：H28.3～地域包括ケア病棟移行</p> <p>その他の指標 (単位: 収益:千円、単価:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>55,812名</td> <td>60,489名</td> <td>61,098名</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>153名</td> <td>166名</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.4日</td> <td>13.6日</td> <td>12.6日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,067,139</td> <td>2,194,896</td> <td>2,275,630</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>37,038</td> <td>36,286</td> <td>37,246</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>87,224名</td> <td>84,082名</td> <td>85,636名</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>359名</td> <td>346名</td> <td>351名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>1,004,303</td> <td>967,636</td> <td>995,504</td> </tr> </tbody> </table>	病棟	27年度	28年度	29年度	東3	63.3%	68.3%	70.4%	東4(包括ケア)	77.1%	77.6%	78.9%	東5	84.1%	84.9%	85.9%	西3(回復期)	92.5%	91.3%	87.1%	西4(包括ケア)	60.0%	77.8%	79.6%	西5	70.2%	83.2%	84.7%	全体	74.0%	80.5%	81.3%	項目	27年度	28年度	29年度	入院延患者数	55,812名	60,489名	61,098名	1日平均入院患者数	153名	166名	167名	平均在院日数	14.4日	13.6日	12.6日	入院収益	2,067,139	2,194,896	2,275,630	入院診療単価	37,038	36,286	37,246	外来延患者数	87,224名	84,082名	85,636名	1日平均外来患者数	359名	346名	351名	外来収益	1,004,303	967,636	995,504	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
病棟	27年度	28年度	29年度																																																																						
東3	63.3%	68.3%	70.4%																																																																						
東4(包括ケア)	77.1%	77.6%	78.9%																																																																						
東5	84.1%	84.9%	85.9%																																																																						
西3(回復期)	92.5%	91.3%	87.1%																																																																						
西4(包括ケア)	60.0%	77.8%	79.6%																																																																						
西5	70.2%	83.2%	84.7%																																																																						
全体	74.0%	80.5%	81.3%																																																																						
項目	27年度	28年度	29年度																																																																						
入院延患者数	55,812名	60,489名	61,098名																																																																						
1日平均入院患者数	153名	166名	167名																																																																						
平均在院日数	14.4日	13.6日	12.6日																																																																						
入院収益	2,067,139	2,194,896	2,275,630																																																																						
入院診療単価	37,038	36,286	37,246																																																																						
外来延患者数	87,224名	84,082名	85,636名																																																																						
1日平均外来患者数	359名	346名	351名																																																																						
外来収益	1,004,303	967,636	995,504																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由																						
	2 未収金の発生防止対策等		<table border="1" data-bbox="1223 256 1783 368"> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>11,523</td> <td>11,508</td> <td>11,625</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>8,207</td> <td>9,128</td> <td>6,928</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>1,976</td> <td>1,943</td> <td>2,337</td> </tr> </table> <p data-bbox="1245 376 1760 432">注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p> <p data-bbox="1200 472 1783 727">2 未収金の発生防止対策等 未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等勧めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。 発生した未収金に対しては、電話や臨宅による催告必要に応じて実施し、分納制度を活用するなどして回収に努めた。</p> <p data-bbox="1234 751 1704 775">【参考】未収金の発生状況と未収額(金額:千円)</p> <table border="1" data-bbox="1223 783 1693 903"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>214件</td> <td>185件</td> <td>161件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>7,665</td> <td>4,389</td> <td>5,480</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1223 911 1783 935">※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額</p>	外来診療単価	11,523	11,508	11,625	室料差額収益	8,207	9,128	6,928	受託検査収益	1,976	1,943	2,337	項目	27年度	28年度	29年度	現年度件数	214件	185件	161件	未収金額	7,665	4,389	5,480		
外来診療単価	11,523	11,508	11,625																										
室料差額収益	8,207	9,128	6,928																										
受託検査収益	1,976	1,943	2,337																										
項目	27年度	28年度	29年度																										
現年度件数	214件	185件	161件																										
未収金額	7,665	4,389	5,480																										
	3 施設基準の取得		<p data-bbox="1200 975 1783 1126">3 施設基準の取得 入院基本料7対1看護体制の維持とともに平成29年度に次の施設基準を届出・算定開始した。診療録管理体制加算については、常勤の診療情報管理士が確保できず下位変更となったが、引き続き取得に努める。</p> <p data-bbox="1223 1134 1312 1158"><基本></p> <ul data-bbox="1234 1166 1760 1222" style="list-style-type: none"> 診療録管理体制加算2 平成30年1月1日取得 (1から2へ下位変更) <p data-bbox="1223 1230 1312 1254"><特掲></p> <ul data-bbox="1234 1262 1783 1382" style="list-style-type: none"> 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用) 平成29年9月1日取得 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独) 平成29年9月1日取得 																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
	4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応		4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会へ参加するとともに、院内各部署への説明会を行った。																																		
24	※ 費用の削減 1 在庫管理の徹底等 2 後発医薬品の効率的採用		<p>1 在庫管理の徹底等 医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用節減を図ったほか、より安価な物品の発掘に努め、医療現場、各委員会ですれらの採用をを諮り、積極的に類似物品の切り替えを実施した。</p> <p>○ 医薬収益に対する材料費比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>10.2 %</td> <td>9.8 %</td> <td>10.3 %</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>5.6 %</td> <td>5.2 %</td> <td>5.4 %</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>1.0 %</td> <td>1.0 %</td> <td>1.0 %</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>16.8 %</td> <td>16.0 %</td> <td>16.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後発医薬品の効率的採用 処方オーダーシステムを改善し、医師の後発医薬品への処方変更を容易にする環境を整えた。今後も、引続き後発医薬品の採用、先発薬品からの切り替えなどの検討を重ね、採用品目の見直しを図る。 また、新規収載医薬品や新たな後発品の採用と使用頻度の少ない医薬品の整理により、品目ベースの比率は変動していないが、後発品の採用状況の変化により使用量ベースでは増加している。今後も使用頻度の変動を観ながら、使用量の増加が見込める効率的な後発品の採用を考慮していく。</p> <p>○ ジェネリック医薬品の採用比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用比率</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>9.3 %</td> <td>9.2 %</td> <td>9.2 %</td> </tr> <tr> <td>使用数量ベース</td> <td>-</td> <td>31.4 %</td> <td>37.8 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用数量ベース 後発医薬品／(後発+先発医薬品)</p>	項目	27 年度	28 年度	29 年度	薬品費	10.2 %	9.8 %	10.3 %	診療材料費	5.6 %	5.2 %	5.4 %	給食材料費	1.0 %	1.0 %	1.0 %	材料全体	16.8 %	16.0 %	16.7 %	採用比率	27 年度	28 年度	29 年度	品目ベース	9.3 %	9.2 %	9.2 %	使用数量ベース	-	31.4 %	37.8 %	III	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																		
薬品費	10.2 %	9.8 %	10.3 %																																		
診療材料費	5.6 %	5.2 %	5.4 %																																		
給食材料費	1.0 %	1.0 %	1.0 %																																		
材料全体	16.8 %	16.0 %	16.7 %																																		
採用比率	27 年度	28 年度	29 年度																																		
品目ベース	9.3 %	9.2 %	9.2 %																																		
使用数量ベース	-	31.4 %	37.8 %																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
	3 経営意識の向上		<p>3 経営意識の向上</p> <p>○ 経営概要（業務量、収支状況）を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。</p> <p>○ 食材費について、食材メーカー、納入業者及び食材等の見直しを進めた結果、目標としていた1日1人当たり650円以下を達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目（税込金額）</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食材費/日・人</td> <td>668 円</td> <td>643 円</td> <td>638 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目（税込金額）	27 年度	28 年度	29 年度	食材費/日・人	668 円	643 円	638 円		
項目（税込金額）	27 年度	28 年度	29 年度										
食材費/日・人	668 円	643 円	638 円										
	4 内部牽制機能の強化		<p>4 内部牽制機能の強化</p> <p>物品の請求の際は各部署において責任者（看護部の場合は各セクション責任者から看護部）の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。</p> <p>平成28年度の総務課用度担当の執行内容を対象とした監査に引き続き、平成29年度は、経営企画課情報担当及び看護部の執行内容について内部監査を実施した。</p>										

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																								
25	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評価結果の反映状況) 経常収支比率、医業収支比率及び職員給与費対医業収益比率は、前年度比でいずれも改善したものの、年度計画を下回っている。次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> </div>	<p>【経常収支比率】(●) 経常収支比率について、収支計画の設定比率91.1%に対して、決算では89.6%となり、1.5ポイント計画を下回った。</p> <p>【医業収支比率】(●) 医業収支比率について、収支計画の設定比率95.2%に対して、決算では93.1%となり、2.1ポイント計画を下回った。</p> <p>【職員給与費対医業収益比率】(●) 職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率78.7%に対して、決算では80.6%となり、1.9ポイント下回った。</p> <p>次年度以降、引き続き計上収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>1 予算に対する実績(予算執行状況) (単位:百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>4,425</td> <td>4,278</td> <td>▲147</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>3,479</td> <td>3,429</td> <td>▲50</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>915</td> <td>819</td> <td>▲96</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>249</td> <td>141</td> <td>▲108</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	4,425	4,278	▲147	医業収益	3,479	3,429	▲50	運営費負担金収益	915	819	▲96	その他営業収益	31	29	▲2	営業外収益	73	72	▲1	運営費負担金収益	60	60	0	その他営業外収益	13	12	▲1	資本収入	249	141	▲108	II	経営改善に取り組み、収益(経常・医業)は前年度比で増加したものの、年度計画を下回っているため、「II」と評価。
区 分	計画額	決算額	増減																																										
収入																																													
営業収益	4,425	4,278	▲147																																										
医業収益	3,479	3,429	▲50																																										
運営費負担金収益	915	819	▲96																																										
その他営業収益	31	29	▲2																																										
営業外収益	73	72	▲1																																										
運営費負担金収益	60	60	0																																										
その他営業外収益	13	12	▲1																																										
資本収入	249	141	▲108																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			長期借入金	112	24	▲88	
			運営費負担金	124	103	▲21	
			その他資本収入	13	13	0	
			その他の収入	0	0	0	
			計	4,747	4,491	▲256	
			支出				
			営業費用	4,028	4,200	172	
			医業費用	3,869	3,995	126	
			給与費	2,393	2,620	227	
			材料費	581	613	32	
			経費	877	749	▲128	
			研究研修費	19	14	▲5	
			一般管理費	159	205	46	
			給与費	111	139	28	
			経費	48	66	18	
			営業外費用	103	102	▲1	
			資本支出	367	258	▲109	
			建設改良費	191	85	▲106	
			償還金	175	174	▲1	
			その他資本支出	1	0	▲1	
			その他の支出	0	0	0	
			計	4,498	4,560	62	
			(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値が一致しないことがある。				
			2 収支計画に対する実績 (損益計算書)				
			(単位:百万円)				
			区 分	計画額	決算額	増減	
			収益の部	4,485	4,338	▲147	
			営業収益	4,413	4,265	▲148	
			医業収益	3,467	3,417	▲50	
			運営費負担金収益	915	819	▲96	
			資産見返負債戻入	0	0	0	
			その他営業収益	31	29	▲2	
			営業外収益	72	72	0	
			運営費負担金収益	60	60	0	

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由	
			その他営業外収益	12	13	1		
			臨時利益	0	0	0		
			費用の部	4,925	4,839	▲86		
			営業費用	4,634	4,579	▲55		
			医業費用	4,447	4,364	▲83		
			給与費	2,609	2,612	3		
			材料費	538	570	32		
			経費	826	709	▲117		
			減価償却費	456	462	6		
			研究研修費	18	12	▲6		
			一般管理費	188	215	27		
			給与費	120	143	23		
			減価償却費	22	23	1		
			経費	45	49	4		
			営業外費用	291	261	▲30		
			臨時損失	0	0	0		
			予備費	0	0	0		
			純利益	▲440	▲501	▲61		
			目的積立金取崩額	0	0	0		
			総利益	▲440	▲501	▲61		
			(注1) 〆					
			3 資金計画に対する実績					
			(単位:百万円)					
			区 分	計画額	決算額	増減		
			資金収入	7,113	6,986	▲127		
			業務活動による収入	4,498	4,361	▲137		
			診療業務による収入	3,479	3,440	▲39		
			運営費負担金による収入	975	879	▲96		
			その他の業務活動による収入	44	41	▲3		
			投資活動による収入	137	5	▲132		
			運営費負担金による収入	124	5	▲119		
			その他の投資活動による収入	13	0	▲13		
			財務活動による収入	112	123	11		
			長期借入による収入	112	24	▲88		
			その他の財務活動による収入	0	98	98		
			前事業年度からの繰越金	2,366	2,497	131		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			資金支出	7,113	6,986	▲127	
			業務活動による支出	4,132	4,257	125	
			給与費支出	2,504	2,722	218	
			材料費支出	581	612	31	
			その他の業務活動による支出	1,047	924	▲123	
			投資活動による支出	191	64	▲127	
			有形固定資産の取得による支出	191	64	▲127	
			その他の投資活動による支出	0	0	0	
			財務活動による支出	175	174	▲1	
			長期借入金の返済による支出	107	105	▲2	
			前期末が償還義務の債権による支出	68	68	0	
			その他財務活動による支出	0	0	0	
			翌事業年度への繰越金	2,615	2,491	▲124	
			(注1) 単位				

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収益比率 (●)

○ 経常収支比率、医業収支比率及び職員給与費対医業収益比率は、前年度比でいずれも改善したものの、年度計画を下回っている。

- ・ 経常収支比率 87.4% (H28) → 89.6% (H29) H29 計画の設定比率 91.1%
- ・ 医業収支比率 90.8% (H28) → 93.1% (H29) H29 計画の設定比率 95.2%
- ・ 職員給与費対医業収益比率 82.9% (H28) → 80.6% (H29) H29 計画の設定比率 78.7%

○ 営業収益については、入院収益約 8,100 万円の増、外来収益約 2,700 万円の増などにより、約 1 億 3,600 万円増加した。

- ・ 入院延べ患者数増加に伴う収益増 60,489 人 (H28) → 61,098 人 (H29) 609 人増 1.0%増
入院の診療単価 36,286 円 (H28) → 37,246 円 (H29) 960 円増 2.6%増
- ・ 外来延べ患者数減少に伴う収益減 84,082 人 (H28) → 85,636 人 (H29) 1,554 人増 1.8%増
外来の診療単価 11,508 円 (H28) → 11,625 円 (H29) 117 円増 1.0%増

○ 営業費用については、医療機器保守委託料等に係る契約方法の見直しにより経費は減少したものの、収益連動による材料費の増などにより、約 3,300 万円増加した。

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
—	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 5億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
—	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
—	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保 に供しようとするときは、その計 画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にを行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
26	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備		<p>1 職員の就労環境の整備 職員の就労環境の整備</p> <p>○ 夜間救急外来における当直受付業務に係る常勤職員の負担軽減【No.3再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度まで常勤職員のみで行っていた夜間当直受付業務について、平成29年度に新たに3名の消防職員OBを追加し計5名とした。これにより、常勤職員の夜間当直業務を廃止し、負担の軽減を図った。 <p>○ こども参観日の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスに関する取り組みの一環として、職員の子どもを対象にした「こども参観日」を開催し、子どもたちに病院見学や病院の役割の説明等を行った。(開催日:12月27日、1月5日) <p>○ 労務管理・ハラスメント研修の実施</p> <p>社会保険労務士を講師に、管理職向けの「ハラスメント研修」を開催し、職員の労務管理やハラスメント防止のための注意点等について講義を受けた。開催日:2回(5/15、6/12)</p> <p>○ 労働基準監督署による臨検により是正勧告を受けたため、年度内に改善報告を提出し、時間外勤務等の適正化に向け、時間外勤務の事前命令・事後確認の徹底、電子カルテアクセスログ等の適正管理、過重労働の縮減対策等に取り組んでいる。</p>	II	継続的な取り組みが実施できているものの、労働基準監督署による臨検により是正勧告を受けたため、年度計画を下回っていると評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
	2 施設の計画的な整備		<p>より日々の診療に支障を来す機器の更新・整備を中心に実施した。また高額機器については、極力補助金活用による導入を目指し、計画的な機器の更新を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平成 29 年度導入医療機器 生化学自動分析装置 他 26 品目 計 54,805 千円 ○ 補助金の活用による整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 下呂市地域医療確保施設設備整備事業費補助金 内視鏡ビデオシステム ● 保健衛生施設等施設整備費補助金（岐阜県重症難病患者拠点・協力病院設備整備費補助金） 多人数用透析患者監視装置 <p>2 施設の計画的な整備 職員の福利厚生施設（別棟）の整備については、経営状況の改善に努め、その状況に応じて、検討に着手する。</p>																				
29	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当期の償還状況 (移行前地方債償還債務) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>537,555,191 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>68,137,124 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>469,418,067 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(長期借入金)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>5,092,620,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>24,400,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>105,376,552 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>5,011,643,448 円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金額	期首残高	537,555,191 円	当期償還額	68,137,124 円	期末残高	469,418,067 円	区 分	金額	期首残高	5,092,620,000 円	当期借入額	24,400,000 円	当期償還額	105,376,552 円	期末残高	5,011,643,448 円	III	岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実行しており、平年並みの実績と評価。
区 分	金額																						
期首残高	537,555,191 円																						
当期償還額	68,137,124 円																						
期末残高	469,418,067 円																						
区 分	金額																						
期首残高	5,092,620,000 円																						
当期借入額	24,400,000 円																						
当期償還額	105,376,552 円																						
期末残高	5,011,643,448 円																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																							
			○ 年度別の償還状況 (単位：百万円) <table border="1" data-bbox="1249 284 1776 595"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第 1 期中期計画 期間(H22-26 計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">27 年度</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">28 年度</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">29 年度</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績		第 1 期中期計画 期間(H22-26 計)	移行前地方債償還債務	934	長期借入金償還額	62	27 年度	移行前地方債償還債務	62	長期借入金償還額	34	28 年度	移行前地方債償還債務	65	長期借入金償還額	63	29 年度	移行前地方債償還債務	68	長期借入金償還額	105		
年度	実績																											
第 1 期中期計画 期間(H22-26 計)	移行前地方債償還債務	934																										
	長期借入金償還額	62																										
27 年度	移行前地方債償還債務	62																										
	長期借入金償還額	34																										
28 年度	移行前地方債償還債務	65																										
	長期借入金償還額	63																										
29 年度	移行前地方債償還債務	68																										
	長期借入金償還額	105																										